University OF RYUKYUS



リュウキュウアカショウビン Halcyon coromanda bangsi



コノハチョウ Kallima inachus



Prionailurus bengalensis iriomotensis



ヤエヤマシオマネキ Uca dussumieri dussumieri



琉









ヤンバルクイナ Gallirallus okinawae



ヤンバルテナガコガネ Cheirotonus jambar



オキナワイシカワガエル

Odorrana ishikawae

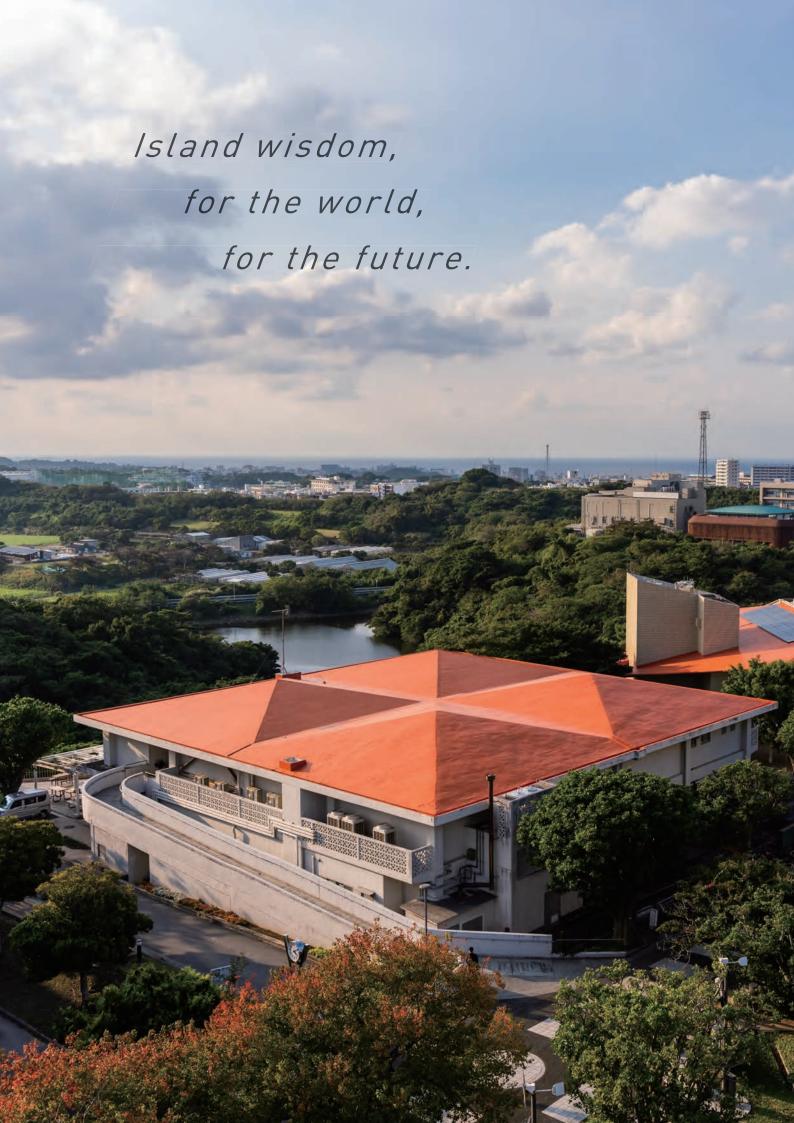
リュウキュウイノシシ Sus scrofa riukiuanus



リュウキュウアユ Plecoglossus altivelis ryukyuensis



研究者 scientist





CONTENTS

| キャンハスマップ — | | | 3 |
|-------------------------------------|----------|------------------------|---------------|
| 与那フィールド·西表研究施設·瀬底研究施設 — 世界自然遺産特集 | | | |
| | | | |
| 人文社会学部 | 15 | 医学部 | 41 |
| 国際法政学科 | 17 | 医学科 | 43 |
| 人間社会学科 | 18 | 保健学科 | 45 |
| 琉球アジア文化学科 | 19 | | |
| | | 工学部 | 47 |
| 国際地域創造学部 | 21 | | 49 |
| 観光地域デザインプログラム | 23 | 機械工学コース | 50 |
| 経営プログラム | 24 | エネルギー環境工学コース | 51 |
| 経済学プログラム | 25 | 電気システム工学コース | 52 |
| 国際言語文化プログラム | 26 | 電子情報通信コース | 53 |
| 地域文化科学プログラム | 27 | 社会基盤デザインコース 建築学コース | 54 55 |
| | | 知能情報コース | 56 |
| 教育学部 | 29 | 7 H 10 117 1 M · · · · | |
| 学校教育教員養成課程 | 31 | 農学部 | 57 |
| 理学部 | 22 | 亜熱帯地域農学科 | 59 |
| 生于即 | 33 | 亜熱帯農林環境科学科 | 61 |
| 数理科学科 | 35 | 地域農業工学科 | 63 |
| 物質地球科学科 海洋自然科学科 | 37 39 | 亜熱帯生物資源科学科 | 65 |
| 海开口然怀于怀 | 37 | | |
| キャンパスライフ ――― | | 67 | |
| 施設紹介 ———— | | | |
| 海外留学 ————— | | | |
| 学生寮 ————— | | 75 | |
| 経済サポート ——— | | 77 | |
| キャリア教育・支援と卒業生の進路 — 78 | | | |
| 取得可能な教員免許状 ― | | | |
| 教員免許状以外の資格等 | | 80 | |
| 入試統計 ———— | | 81 | |
| ACCESS — | | 82 | |





B 全保連ステーション (大学会館)

プローバル教育支援機構



(南口)

放送大学
地域国際学習センター
地域連携推進機構生涯学習推進部門
国際教育センター(旧留学生センター)

P

附属中学校



施設紹介.01 千原·上原キャンパス外施設

熱帯生物圏研究センター

日本で唯一、熱帯・亜熱帯環境下にある共同研究拠点。

瀬底島と西表島にある各研究施設と千原キャンパス内のふたつの研究施設が連携し、

地域の生物の生態的特性や多様性、人の健康・環境との相互作用などの解明を進めています。

瀬底研究施設 Sesoko Station



瀬底研究施設には、サンゴ礁生物研究の 国際的拠点となる共同研究施設を整備し、 24 時間体制で研究できる宿泊室も完備し ています。多くの国内外の学生や研究者が 施設を利用し、サンゴ礁のフィールド調査 や海水を利用した生物飼育実験などを行 ない、研究を推進しています。



西表研究施設 Iriomote Station



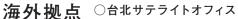


日本最大の亜熱帯照葉樹林・マングローブ林を有し、その周りを 比較的良好なサンゴ礁に囲まれた西表島は、様々なフィールド研 究を行うのにもってこいの島です。西表研究施設は宿泊・実験施 設を備えており、国内外の学生や研究者に活用されています。





農学部を主に、学生がフィールドワークや実習で利活用しています。





○ラオスサテライトオフィス

○ドイツサテライトオフィス

○ブラジルサテライトオフィス



W O R L D N A T U R

赞世界自然

[やんばる編]









高嶋 敦史 農学部助教 専門分野:森林計画学



西田 睦 学長 専門分野:生物多様性



大島 順子 国際地域創造学部 准教授 専門分野:地域·環境教育論



小林 峻 理学部 助教 専門分野:動物生態学 進化·生態学

一どう保全していくのか

学長 与那フィールドの約 1/4 が世界自然 遺産に登録されました。大学が管理する土 地が世界自然遺産に登録されるのは、全国 初です。しかし、残された自然は思いのほか 少なく、この貴重な場所をどう保全・活用し ていくのかが、重要となります。琉球大学の 役割を話しましょう。

高嶋 与那フィールドで登録されたのは特別保護区と第1種特別地域です。自然度が高く、非常に貴重な生物も見つかっています。授業・研究でどう活用していくのか、そして、それをどう保全するのかが大切な視点となります。

学長 なぜ与那フィールドが世界自然遺産

の一部となったのでしょうか。

高嶋 例えば、あそこに樹洞(じゅどう:幹に空いた洞窟のような空間)がありますが、ある程度の太さが必要なので、林齢の若い森林では見られません。樹洞があることが、長い間、人の手が入っていない、自然度の高い森林であることを示す1つの指標となります。そういった森林が与那フィールド内には多く残されているのです。

小林 樹洞は琉球列島のみ生息するケナガネズミやヤンバルテナガコガネのような貴重な生物が利用する重要な場所です。現在、これらの生物がいつ、どのように樹洞を利用するのか、学生が定点カメラで調査しています。自然度が高い森林には、このよ

うな森林性の希少種も多いので、そのこと を踏まえて保全していく必要があります。

高嶋 生物の利用と森林の管理について 情報交換しながら、世界自然遺産地域の管 理をしていくことが必要ですね。

小林 高嶋先生達と情報交換しながら、今後も研究を進めていきたいです。

大島 一方で残念ながら、密猟が後を絶ちません。私は林野庁の事業として、密猟の対策に関する研究をしていますが、そういった対策は保全にも繋がります。また、森には境界線がないので、どこが世界自然遺産なのか分かりにくいです。また、やんばるは地域の人々が昔から利用してきましたが、世界自然遺産に指定されたため、どこが利用制限のある地域なのか、地域の人々にも知ってもらう必要があります。





学長 例えば、VR技術を使って、現地でも 境界線が見えるようにすれば、分かりやす いのではないでしょうか。また、やんばるに 自然観察に来ても、多くの動植物に出会え るとは限りません。出会えなかった種がや んばるの自然の中でどのように過ごしてい るのかを映した映像を、現場でVRで見るご とができるようになれば、学校教育、ガイド ツアー等でも活用できていいでしょうね。エ 学の分野の協力が必要になりますが、それ らの技術が集結しているのが琉球大学で すから、そういったところで本学の叡智を 発揮できると思います。

高嶋 世界自然遺産周辺には、緩衝地帯があり、与那フィールドにもそれがあります。 世界自然遺産の地域を保全するのには、この緩衝地帯をどう利活用するかが重要で



す。地元の方は、世界自然遺産になる遙か前から、森と共に生活してきました。世界自然遺産に登録されて、活動が制限されることに理解を得る必要があります。

大島 私は、やんばるの世界自然遺産を テーマに、一般の方を対象とした公開講座 を行っていますが、そういった機会を通し て、沖縄県内や地域住民の方にも正しく理 解してもらうようにしていますよ。

一与那フィールドの役割とは?

大島 やんばるの森は「原生林」といった 表現をされることがありますが、実は多くが 人の営みと共にあったことがわかっていま す。

高嶋 森林の成り立ちは時間が掛かり、とてもも1のとてるもの、とてるものではありません。ここがはありに人の手がのように人過去のなどのようが、過去のなどである。資産をは、現在がのでである。過去から表れば、現在から未来のようには、現在から未来のようには、現たから未来の成りになったが、

測ができるようになります。この情報の管理にも、半永久的な管理が可能な琉球大学が一役買うはずです。また、実習でこういったことを学生が学ぶことができる場所があるというのは、琉球大学の特徴の1つだと思います。

小林 様々な分野のデータをまとめる「核」 としての役割が琉球大学に求められている と思います。

学長 そういった視点からも、与那フィールドが如何に重要かがわかります。いま話されたような情報を教員と学生が琉球大学として積み上げて保管し、世界自然遺産としてのやんばるの保全・活用に繋げていくことが大切ですね。



動画で見る 与那フィールド



★=小林助教提供





渡辺 信 准教授 熱帯生物圏研究センター 西表研究施設(サンゴ礁生物科学部門)

一現在の研究内容は?

森を造る・再生するための樹木生理生態学を基盤として、マングローブの保全に関する研究を進めています。マングローブは熱帯・亜熱帯の汽水域に生育する木本植物群落の総称で、国内には8種が存在します。日本のマングローブの7割が西表島に分布していますが、大規模なマングローブ林倒壊現象が複数箇所で確認されているのでその原因を調べています。最近はドローンを用いた研究も推進しています。

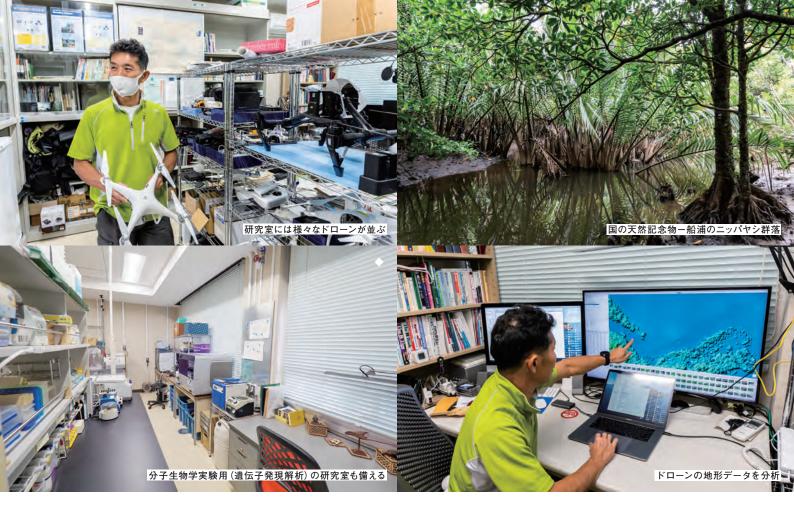
一なぜドローンを使うのですか?

ローンを飛ばし、広範囲に空撮・測量することで、マングローブ生態系を短時間で網羅的に把握することが出来るようになりました。先の倒壊現象に関しても定期的な空撮により微地形とマングローブ植生の時系列変化を調べ、倒壊現象の原因を追求します。

ードローンを使えばマングローブに入らなくてもデータ収集が可能?

空から見てわかることもありますが、マングローブ林に入らないと分からないことも沢山あります。マングローブ林内の光環境、暗い林冠*下での次世代実生*の更新、マングローブ樹種毎の立地に大きな影響を及ぼす





地盤の高さ等、挙げれば切りがありません。 またドローン空撮により測量情報が得られ ますが、誤差がないわけではありません。空 撮画像から計算で導き出された三次元空 間座標も、地上で直接計測した精密な GNSS*座標データで補正することによっ て、誤差数センチ以内の三次元モデルとな ります。

※林冠…森林の頂部で枝葉の茂った部分 ※実生…発芽したばかりの植物 ※GNSS…GPSを含めた世界的な衛星測位 システムの総称

一今後の研究は?

世界自然遺産に登録されたことからも分かるように、西表島には他の地域にはない自然が多く残されています。昨年からJAXAのプロジェクトに参画し、人工衛星で得られる地表の特殊分光データを利用出来ることになりました。ドローンによる空撮情報と宇宙からの観測情報を組み合わせて解析すれば、西表島のマングローブを含む自然の保全研究が促進されるだけでなく、世界の森林で起きている様々な現象の要因を探究することが可能になるかもしれません。









ADMISSION POLICY

琉大が求める人材像

人材の育成

- 豊かな教養と自己実現力を有し、総合的な判断力を備えた人材
- 優れた専門性を持ち、地域社会及び国際社会に貢献する人材
- 外国語運用能力と国際感覚を有し、国際社会で活躍する人材
- 地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に 貢献する人材

求める学生像

- 高等学校段階までの教育において、基礎的な知識・技能を習得し、問題意識を持ち続け、主体的に学習に取り組む態度を身につけた人
- 異なる歴史的・文化的特性や価値観を理解し、地域社会及び国際社会で貢献する意欲のある人
- 自分自身の可能性を信じ、自己の個性を生かし、自己実現に意欲のある人

琉球大学は、戦後間もない1950年5月22日に首里城跡地に開学しました。米国のミシガン州立大学の教授陣の協力を得て、「地域に根差し、地域のために」という精神を強く受け継ぐ大学として成長を遂げてきました。琉球大学が国際性と地域性を併せもつのも、この成り立ちがあるからこそと言えます。また、琉球列島は、陸から海へと亜熱帯の自然が広がり、島嶼(とうしょ)という地域的特性の中で育まれた歴史や文化も非常にユニークです。これらの特徴を活かした教育・研究が数多く行われている琉球大学で、皆さんも学んでみませんか!



学長 にしだ もつみ **西田 睦**

人文社会 **学部**

国際地域 創造学部

教育学部 → Р29

理 学 部 → Р33

医学部 → P41

工 学 部 → Р47

農 学 部 → Р57



大文社会学部長 あんどう よしみ 安藤 由美

21世紀も中盤に向かいつつある今、私たち人類は、これまでも我々を悩ませてきた人間の社会での紛争や抑圧に加えて、パンデミックという、これもまた古くて新しい脅威に立ち向かうことを余儀なくされています。そのような時代にこそ必要なのは、人文社会分野の知性とスキルであるといえます。人文社会学部では、私たち人間や地域社会、あるいは国際社会が抱える課題、その歴史や文化、そしてそもそも人間の精神・心とは何か、こういった問題に平和・共生・沖縄理解といった独自の視点から迫っていきます。



国際地域創造学部は、グローバルとローカルを併せ持つグローカルな視野によって、地域社会における現代的課題の解決や国内外の産業・文化の振興に寄与できる人材を育成しています。そのために必要な高度な外国語運用能力や国際感覚の養成も行っています。観光地域デザイン・経営・経済学・国際言語文化・地域文化科学という5つのプログラムが提供する科目を幅広く学び、その上でさらに深い学びを専門分野で行うことができます。国際性と地域性を掛け合わせて未来を創造していきたい皆さんを歓迎します。



教育学部長 はぎの きっこ **萩野 敦子**

教育学部は、高等教育機関であると同時に教員養成機関です。高等教育機関としては学士(教育学)という学位を取得する教育課程を編成し、教員養成機関としては小学校教諭および中学校教諭の一種免許を取得可能な教職課程を中心に編成しています。学士にふさわしい知識や思考力・判断力・表現力等を修得しながら、それを踏まえた学校教員・教師としてのスキルとハートを培っていく、その意欲を有する皆さんの入学をお待ちしています。



理学部長 **古川 雅英**

理学部は、日本最南端の基礎科学の拠点です。数学、物理学、地学、化学、生物学を基盤として、データサイエンスなどの先端領域を含む幅広い教育研究を推進しています。また、琉球・沖縄の地理的特性を活かしつつ、グローバルに波及する研究成果の創出と、国際性を備えた理系人材の育成を目指しています。美しいサンゴ礁の海に囲まれた亜熱帯の島で、理学の世界を楽しみながら、人類がかかえる様々な課題の解決にもチャレンジしてみませんか。



医学部長 つつい まきと **筒井 正人**

沖縄県では、医療の国際性や離島・僻地での医療体制の確保が急務である状況を踏まえて、「沖縄健康医療拠点」を形成する構想が国家戦略として進められています。その構想の核として医学部と病院は2025年初頭に宜野湾市に移転することになりました。本学部では、地域医療、高度先進医療、および国際保健医療を担う人材を育成しています。入学後は沢山勉強しなければなりませんが、沖縄の素晴らしい自然や文化に触れて息抜きもしながら、琉球大学で楽しい学生生活を過ごしてみませんか!



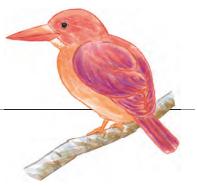
美しいサンゴ礁の海、年中緑溢れ、空気がおいしく、花粉症もない沖縄。情報通信技術の発達で、そんな自然豊かな場所でも、世界中の最新の情報が簡単に手に入ります。天地自然のルールを数学や物理学でモデリングし、そして頭脳を使ってデザインすることで人類社会に活かしてゆくのが工学部の学びです。機械・エネルギー・電気・電子・社会インフラ・建築そして知的情報技術を利用し、世界で活躍できる人を真面目に育成しています。



農学部長 わだ ごうじ **和田 浩二**

日本で唯一亜熱帯地域に位置する琉球大学農学部!「食料生産」、「環境保全」、「エネルギー」、「生物資源」、そして「健康の維持増進」に関わる多種多様な課題について、地域特性を最大限に活かして意欲的に教育と研究に取り組んでいます。これらの取り組みは、SDGs (持続可能な開発目標)の達成にも大きな役割を果たすことが期待されています。琉球大学農学部では、亜熱帯の沖縄でしかできない「農学」、総合科学としての「農学」、そしてグローバルな「農学」に興味や関心のある学生を待っています!!

現代社会のニーズに対応し 幅広い分野で活躍できる 人材の育成を目指す



人 文 社 学 部

国際法政学科

Department of Law, Politics, and International Relations

人間社会学科

Department of Sociology and Human Sciences

琉球アジア文化学科

人文社会学部



Faculty of Huma



人文社会学部

法と政治、国際関係の「知」から日本・国際社会を考察、俯瞰する

01

国際法政学科

Department of Law, Politics, and International Relations



求める人材像 Admission Policy

人間社会や社会諸科学への深い関心、柔軟な思考力、主体的に学ぶ 意欲をもった人を求めています。

■ 一般選抜(前期日程)

全科目に対してバランスのとれた基礎学力を有することはもちろん、社会情勢を広く認識し、問題意識をもつために必要な、論理的思考力と外国語能力を十分に身に付けている人を求めています。

■ 一般選抜(後期日程)

社会科学を学ぶための基礎学力を有することはもちろん、社会情勢を広く認識し、問題意識をもち、それらを論理的に説明できる人を求めています。

■ 学校推薦型選抜 II (大学入学共通テストを課す)

人間社会や社会科学への深い関心、柔軟な思考力、主体的に学ぶ意欲をもった人を求めています。全科目に対してバランスのとれた基礎学力を有することはもちろん、社会情勢を広く認識し、問題意識をもち、それらを対話や文書で論理的に説明できる人を求めています。

研究分野

法学プログラム

刑法 民法

行政法 社会保障法

労働法 民事訴訟法

政治・国際関係学プログラム

比較政治学

日本政治外交史

行政学 国際関係史

国際社会学 国際政治学

人文社会学部

人間の考察を中心に、諸問題の解決策を多角的視点から立案できる人材へ

人間社会学科

Department of Sociology and Human Sciences



求める人材像 Admission Policy

大学での学びの土台となる基礎学力をもち、多面的な観点から物事を 考察し、多様な人々と協働しながら自分なりの意見をまとめることができる人

思想·教育·心·社会に強い関心をもち、よりよい生き方や教育·市民 社会の発展·生活問題の解決に貢献したいと思う人

すべての科目で十分な基礎学力を有し、論理的思考・問題解決能力に 秀で、専門的学問分野・職業に対する目的意識が高く興味関心が明確な人

研究分野

哲学・教育学プログラム

教育社会学 哲学

倫理学

心理学プログラム

臨床心理学 社会心理学

社会学プログラム

社会学 国際社会学

社会福祉学 地域福祉学

マスコミ学 ジャーナリズム

人文社会学部

03

琉球・日本・アジアの言語や文化・歴史を学究し専門的知識を深める

琉球アジア文化学科

Department of Ryukyuan and Asian Studies



求める人材像 Admission Policy

研究対象である琉球アジア言語文化圏 (沖縄、日本、中国、台湾、朝鮮半島) の言語、文学、文化、歴史、民俗などに強い関心と学習意欲を有し、彼我の相違と類似性の面に目を向けつつ主体的・積極的研究のできる人を歓迎します。

具体的には、下記の観点をもった人材を求めます。

- ■専攻分野への強い関心、関連する資料・情報の収集に対する意欲
- ■収集した資料や情報の整理・分析をとおして独自の視点から意見をもち うる能力
- ●研究した成果を論理的にまとめて説得力のある発表ができる技能習得 への強い意欲
- ●他者との議論や意見交換をとおして多様な見解や価値観を学び、内省し、柔軟に修正・改善する姿勢

研究分野

歴史・民俗学プログラム

琉球史学 中琉関係史学

沖縄近現代史学 琉球民俗学

文学プログラム

日本古典文学 日本近現代文学

琉球文学 中国文学

朝鮮文学

言語学プログラム

日本語学 中国語学

琉球語学



商品開発やボランティア、プロジェクトに積極的に取り しまがくる れな 組んでいる島袋鈴菜さん。

その一つが「子育で支援アプリ サポまる (サポートまる わかり)」です。このアプリでは社会福祉における課題である"情報が行き渡らないために、存在する支援を利用することができない"問題に着目し、それらの情報を簡単に手に入れることができます。多くの課題に直面しながらも、工学部の学生等様々な人たちとつながり、公開に至りました。

島袋さんは「時代が変化していくなかで、日々新たな社会問題が生まれており、そのなかで私には何ができるかを常に考えています。今はまだできることに限りがありますが、これからいろいろなことを学び、経験することでその限界がなくなるのではないかと期待しています。また大学を大きな成長の場にして、全ての人が幸せだと思える社会づくりに貢献していきたい」と今後の抱負を語っています。「誰一人取り残さない」というSDGsのモットーは、ひとりの学生の一歩から達成に向けて大きく前進するのかもしれません。

「サポまる」とは

『一般社団法人大学コンソーシアム沖縄子どもの居場所学生ボランティアセンター内における「学生提案型企画」』として始動したこのプロジェクトは、琉球大学・沖縄キリスト教短期大学・沖縄国際大学・沖縄県立看護大学に所属する学生5名が中心となり、琉球大学工学部附属地域創生研究センター社会システム研究部門(宮田龍太研究室)と共同制作しました。

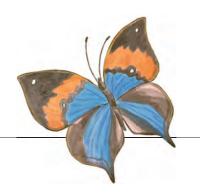


20

グローバル×ローカル

様々な視点を融合させて

実践的な知の掛け算を



国際地域創造学習

国際地域創造学科

Department of Global and Regional Studies

- 01 観光地域デザインプログラム Tourism Sciences
- 02 経営プログラム
 Management
- 03 経済学プログラム Economics
- 04国際言語文化プログラムGlobal Languages and Cultures
- 05 地域文化科学プログラム
 Geography, History and Anthropology





求める人材像 Admission Policy

- 地域の文化・社会について多様な学問的見地から興味をもち、主体性をもって 課題に取り組み、そしてより良い課題解決のために様々な立場の人々と意見 を交換しつつ実行することができる人。
- 現代の地域・国際社会をめぐる多様な課題に対して関心をもち、自らの感性 と経験を通して他者や社会と関わり、得られた知見を社会全般に還元する態 度を備えている人。
- 3 21世紀型市民として必要な学際的教養を身に付ける意欲をもち、他者や異文化のもつ多様な価値観に対して柔軟な態度を身に付けている人。

Faculty of



観光と地域について探究し、社会で創造的に活躍する人材を育成する

観光地域デザインプログラム

Tourism Sciences



本プログラムは、グローバル化が進展する中、持続可能な開発に資する人材、高い学士力を身につけ現代社会で創造的に活躍できる人材を育成することを目的とします。

観光地域デザインプログラムとは、 ビジネス、政策、資源管理、地域開発 など様々な領域から学際的に「観光」 「地域」「観光と地域の関係」、あるい



はそれらの成り立ちや振興を考える 学問領域です。本プログラムでは、サ ステナブルツーリズム (持続可能な観 光) のコンセプトを基盤に、「観光ビジ ネス」「観光地開発」「地域資源マネジ メント」「ウェルネス&ツーリズム」を 核とした専門科目を提供し、上述の成 り立ちや振興を探究していきます。



研究分野

社会医学・ヘルスツーリズム

観光社会学・農村社会学 · 地域社会学

観光経済·統計学

景観工学・景観計画論

保全生態学·生物人類学

地域·環境教育論

観光経営学

観光心理学

02

「経営」の学びを通して、目標に向かって積極的に行動できる人材を育てる

経営プログラム

Management



「経営」というと、会社の社長さん や部長さんの仕事で自分とは関係な いことだと思っていませんか?

確かに「経営」とは会社という組織を仕切る仕事を指す場合が多いかもしれません。しかし、「経営」というきれは、「目的を達成するために、継続に動画的に意思決定を行い、実行といいうまえると、「経営」といいではより引用)」といいではなったのではは、「経営」とのではするのか?例えば自分の所り、経営がです。あるいは、将来なりたい自分が多くはいいます。あるいは、将来なりたいもはないからはないよいないは、

て、それを目指して今からどのような 筋道をとればその目標に辿り着けるか を考えるのも経営です。

「経営」の出発点として、まずは目指すべく魅力的な目標を設定することが多要となります。それは自分だけで享受できるメリットを考えることがすります。そして、目標に向かったとして、目標に向かったが欠かせません。そのエネルギーとは、自分のやる気、能力、人脈、使えるは、自分のやる気、能力、人脈、クウウは、自分です。突き進むエネルギーを無駄なく運用することのできる人材になって下さい。

研究分野

マーケティング論

経営組織論・メディアダイナミクス

ファイナンス論、財務管理論

流通システム論

キャリア論、組織行動論、 サービスマネジメント論

経営戦略論 人的資源管理論

財務会計 持続可能な観光開発

会計学 管理会計論

中小・ベンチャー企業論

技術経営 知識経営

消費者行動論 市場調査論

経済について幅広く学び、経済学の視点から社会の現状を捉え、解決する力を

経済学プログラム

Economics



ビッグデータ、人口知能(AI)、モノのインターネット(IoT)といった新しい技術が次々と生み出され、社会は刻一刻と変化し、人々の生活にも大きな影響を及ぼしています。こうした技術が生み出される源は何なのでしょうか?社会は今後、どのように変化していくのでしょうか?そうした中で、私たちはどのように行動していけばいいのでしょうか?

経済学を学ぶことで、社会の現状を理解し、その変化の方向を予測し、そこから得られた知見をもとに判断し行動することができます。経済学プログラムでは、基礎的な内容から応用理論に至るまで、歴史(経済史)や政策

(社会政策、経済政策)も踏まえながら、経済について幅広く学ぶことのできるカリキュラムを提供しています。また、データを活用した統計分析(計量経済)、社会に出た上で役立つスキルや実践力の習得(実践経済学)にも力を入れています。経済学の視点から社会を捉えることで、社会の仕組みを理解し、地域の抱える問題点を見出し、適切な解決策を提案できるような、そんな人材を目指しませんか。

研究分野

金融論

経済政策

財政学

ミクロ経済学

計量経済学

社会政策

国際経済学

開発経済学

日本経済史

マクロ経済学

データサイエンス、社会・経済物理学

西洋経済史

言語、文学、文化の専門的な授業と、高度な外国語運用能力の獲得を目指す

国際言語文化プログラム

Global Languages and Cultures



国際言語文化プログラムは、英 米、ドイツ、フランス、スペイン語圏 の言語、文学、文化を包括的かつ専 門的に学びたい学生や、日本語や 日本事情について学びたい外国人 留学生のためのプログラムです。

本プログラムの学生は、言語、文学、文化の専門的な授業や、ネイティブ・スピーカーの先生による授業、留学生との交流、そして英語語で、高度な外国語運用能力の獲得をめざします。英語には、昼間主コースのほか、社会人や働く学生も学ぶことができる夜間主コースもあります。また、本プログラムは、沖縄

で唯一、ドイツ・フランス・スペイン 語圏の言語、文学、文化について専 門的に学ぶことができるプログラム でもあります。

自分の選んだ言語の習得を通して、その文化や社会を深く知り、世界の人々と自由自在に対話する力を獲得できたら、それまで遠いと思っていた「世界」は案外あなたの身近にあることを実感できるでしょう。

研究分野

アメリカ文学・文化 ジェンダー研究

英文学・イギリス文化 言語学・英語学

社会言語学·言語政策 形式意味論

琉球語 応用言語学・第2言語習得論

英語教育学 コミュニケーション学

異文化コミュニケーション

非言語コミュニケーション 談話研究

ドイツ文化・歴史 ドイツ語学・教授法

ドイツ文学・音楽・芸術 フランス文学・文化

フランス語学・教授法 スペイン文学

スペイン語圏歴史・文化・社会

ヨーロッパ研究・EU 研究

日本語学·日本語教育学 日本文化 国際事情

資料解読やフィールドワークを通して、「地域」や「文化」について総合的に学ぶ

地域文化科学プログラム

Geography, History and Anthropology



地域文化科学プログラムでは「人間」について、空間、時間、文化とのかかわりから学ぶことができます。ただし単なる理論だけでなく、古文書や図像などの史料解読を通して、さらに巡検や現地調査・発掘、聞き取り・参与観察などのフィールドワークを通して学べるプログラムです。またGISなどの地図に関するスキルも身につけることができます。

本プログラムは複雑・緊密化する世界を地理学、歴史学、人類学の最新の研究成果をもとに、総合的に理解することを目指しています。史料に親しみ、フィールドに出かけ、人類が培った我々へのメッセージ、現代に生きる

人々の多様な暮らし方、さらにそれら が置かれた環境などについて考えてい きませんか。





研究分野

人文地理学

自然地理学

日本近世史

東洋史

西洋史

考古学

民俗学

社会人類学

歴史教育

博物館学

琉球大学が進める 次世代育成

^流SDGs

未来を担う子どもたちの育成にも取り組んでいます

科学技術分野における人材の確保は、国の将来にも影 響する重要な課題の一つです。琉球大学では、大学教員 による中学校・高校への出前授業や、野外での自然体験 プログラム、大学生と進路について相談するサイエンスカ フェなど、様々なイベントを開催し、理数好きの子どもた ちの裾野の拡大に取り組んでいます(琉球リケジョ等)。 また、科学分野に優れた素質をもつ子どもたちには、講 義、演習・実験、グループ討議など、年間を通じたプログラ ムを提供し、個性や能力を伸ばしながら、科学者として必 要な基礎的な能力も育成しています(琉大ハカセ塾、琉大 カガク院)。参加者の中には、大学教員や研究者の指導の もと研究を行い、国際誌への論文発表や学会発表、科学 コンテスト等に挑戦する生徒もいます。

(これらの事業の一部は国立研究開発法人科学技術振興 機構の支援を受けています)





将来の予測が困難な時代を生きる子どもたち には、地域や世界で発生する課題を自らの問題と して捉え、その解決につながる新たな価値や行動 を生み出すことが求められています。高校で本格 的にスタートした「総合的な探究の時間」では、生 徒が主体的に課題を設定し、情報の収集や整理、 分析などの学習活動が展開されており、SDGsと 関連するテーマに取組む生徒も多くいます。琉球 大学には、SDGsの達成にもつながるテーマを研 究している教員が多数おりますので、高校生の探 究的な学びにアドバイザーとして協力しています。

琉球大学は沖縄県教育委員会との共催で、生徒の活動の成果を発 表するシンポジウムを開催しています。夏の「沖縄科学技術教育シンポ ジウム: Okinawa Attractive Science and Engineering Symposium (OASES) | では、自然科学や科学技術に関心がある中高生が一同に 集まり、科学者や技術者による講演や実験、生徒による研究成果発表 会が行われます。冬の「沖縄未来社会創生シンポジウム:Okinawa Future Society Initiative Symposium (OFSIS)」では、沖縄県内の 高校生が貧困・平和・環境・災害・観光・文化などの様々な社会的な課題 をテーマにした探究の成果を発表し、学校を超えた生徒の交流の場と なっています。これらのシンポジウムには、大学・大学院生、中高教員、 大学教員等も参加し、研究内容の進め方やまとめ方、新たな探究のヒ ントなど、SDGsをキーワードとした活発な意見交換が行われています。

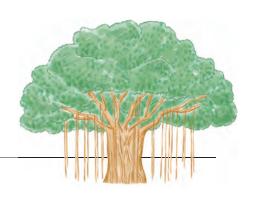


Ď¥Ť÷Ť

-W****•

CO

子どもに寄り添い 学びと育ちを支える力を 総合的に身につける



教育学部

学校教育教員養成課程

Elementary and Secondary School Teacher Training Program

小学校教育コース

中学校教育コース

特別支援教育コース





Facult



教育学部

01

学校が抱える教育の多様な課題に向き合い、柔軟かつ力強く対応する専門家の養成に向けて

学校教育教員養成課程

Elementary and Secondary School Teacher Training Program



4年間の学び これらは教育学部で学べる科目のほんの一例です。ここに書かれている以外にも、各専修からさまざまな科目が提供されています。

教育について 多角的に学べる科E

- ■教職入門
- 教職人门 ■ 教育原理
- ■教育課程
- ■教育方法
- ■教育心理学
- ■特別の支援を必要とする
- 多様な子どもへの理解と支援
- ■総合的な学習の時間の
- 授業づくり
- ■特別活動論
- ■生徒指導論
- ■教育相談
- ■学校カウンセリング
- ■道徳教育の理論と実践
- ■教育行政学
- ■学校社会学
- ■教育の制度
- ■離島・へき地教育概論
- ■子どもと多言語・多文化教育
- ■新聞活用講座
- ■平和教育学概論

小学校教員に なるための科目

- ■国語概説
- ■初等国語科教育法
- ■社会科要説
- ■初等社会科教育法
- ■数学科教育法
- ■初等算数科教育法
- ■自然科学概論
- ■音楽
- ■初等音楽科教育法
- ■小専美術
- ■初等図工科教育法
- ■体育
- ■初等体育科教育法
- ■家庭
- ■初等家庭科教育法
- ■外国語
- ■初等外国語教育法
- ■生活科教育概論 ■初等生活科教育法

中学・高校教員に

- ■国語科教育法
- ■日本文学概論
- ■社会科教育法
- ■日本史概論 ■数学科教育法
- 数字科教育》 ■ 代数学序論
- ■理科教育法
- ■物理学実験
- ■音楽科教育法
- ■音楽理論基礎
- ■首架埋諞基礎 ■美術科教育法
- ■美術理論·美術史基礎
- ■保健体育科教育法
- ■生理学·運動生理学
- ■技術科教育法
- ■基礎製図
- ■家庭科教育法
- ■食物学
- ■英語科教育法
- ■英米文学概論

子どもを 50るための科目

- ■子どもの世界・学びの世界
- 理解と表現の基礎的スキル
- ■は解こ表現の基礎的スキル
 ■小学校教育フィールドワーク
- ■小学校教育研究法
- ■子どものからだと動き
- ■子どもと生活のなかのことば
- ■するもと生活のながのこと! ■乳幼児教育学
- 乳幼児教育学 ■子どもと自然体験活動
- ■するもと自然体験店: ■子ども読書論
- ■特別支援教育概説
- ■特別支援教育概説 ■知的障害者の心理・生理・病理

教職実践系の科目

- ■教職体験|
- ■教職体験||
- ■介護等体験指導

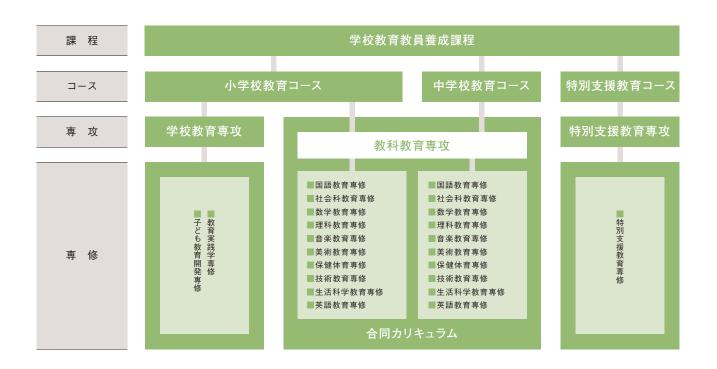
- ■小学校教育実習
- ■中学校教育実習■特別支援学校教育実習
- ■行列又依子仪叙目表
- ■幼稚園教育実習 ■高等学校教育実習
- ■高寺学校教育美智
 ■教職実践演習
- ■教育実践フィールドワーク
- ■教職インターンシップ
- ■模擬授業

求める人材像 Admission Policy

本学部は、1 課程 (学校教育教員養成課程) 3 コース (小学校教育コース・中学校教育コース・特別支援教育コース) から成ります。

学校教育教員養成課程では教育という営みの本質を学びつつ、主として学校教育に関わる今日的な問題に真剣に取り組もうとする、次のような人材を求めています。

- ●教員として主体性をもち、子ども及び社会と関わっていきたい人
- ●教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人
- ●高等学校での基礎学力を身に付け、思考力・判断力・表現力をもつ人
- ●沖縄の歴史的・環境的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人



小学校教育コース

学校教育真攻

教育実践学専修

実践と理論とを往還的に 学ぶ機会を繰り返し提供 し、そこで得た学修の成 果を子ども一人一人に対 応還元できる指導力にま で高め、児童の豊かな「学 び」の創造に結びつけて いきます。 学校教育専攻

子ども教育開発専修

学校に留まらず家庭や地域など「場所」での子どもとの関わりから自己を問う体験を通し子どもの専門的理解をめざします。子どもたちの生活世界の中にある学校づくりを支える教育実践を創出します。

教科教育専攻

各教科教育専修

実践的指導力(授業力)の支えとなる教材への解釈力と教材からの展開力を、専門系・教育系学修のスパイラルにより身につけます。また、実際の授業現場を観察・経験する機会を多く提供します。

中学校教育コース

教科教育専攻

各教科教育専修 —————

小・中学校を見通し、探 求する喜びを育む「学び」 を構想できるよう専門性 を高め、多くの現場や生活 環境など諸問題への認 環境など諸問題への認 僚と協働できる姿勢を習 得します。

特別支援教育コース

特別支援教育専攻

特別支援教育専修

特別支援教育に関する 基礎的・基本的知識を身 につけるとともに、少人 数の演習形式の授業や ボランティア活動により、 一人ひとりの事情に即し た臨床的な実践力を獲 得します。

亜熱帯島嶼の特性を活かした 特色ある教育研究で 様々な問題を解き明かす



01 数理科学科

Department of Mathematical Sciences

02 物質地球科学科

ng 海洋自然科学科

Department of Chemistry, Biology and Marine Science



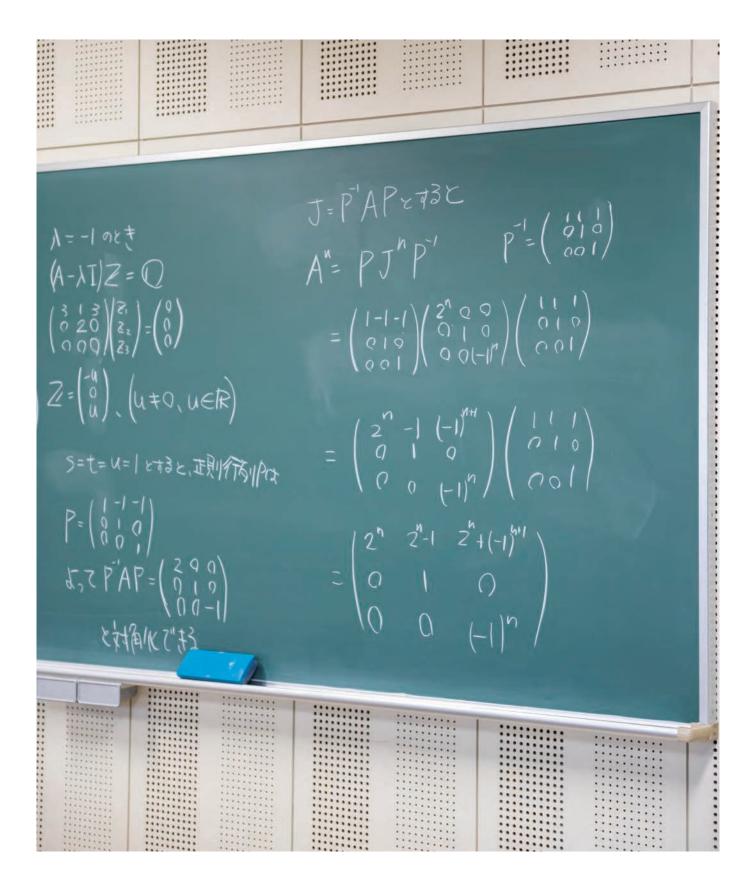






数理科学科

Department of Mathematical Sciences

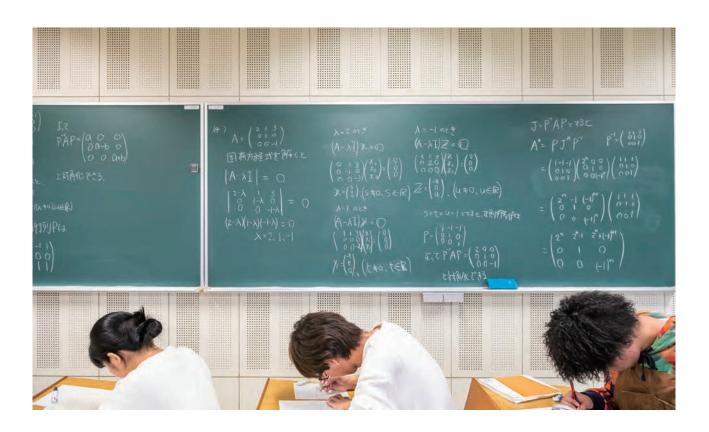


求める人材像 Admission Policy

- 数理科学科では教育理念に基づいて、次のような人を求めています。
 - ●基礎的な数学の知識・思考力を備えている人
 - ●未知の数学に対する好奇心が旺盛である人
 - ●強い勉学意欲をもち、積極的に数学を学び、修得した知識や 技術等を社会に役立てたい志のある人

研究分野

| 11) 30 444 1-11 | / // ID 66 /- | W //- IT | 1 = A | |
|-----------------|---------------|----------|-------|--|
| 代数幾何学 | 位相幾何: | 字 作用 | 素環論 | |
| 確率論 | 関数解析学 | 特殊関数 | は論 | |
| | | | | |
| 表現論 | 数理統計学 | 整数論 | 双曲幾何学 | |
| 大域解析学 | 常 暗号理論 | 組合せ | 論 | |



高校で学ぶ三角関数や微分積分は医療機器であるCTスキャンに応用されています。インターネットの暗号通信には整数論や符号理論が使われています。確率論は経済学に応用され、保険数理人 (アクチュアリー) になるには統計や確率の学修が必須です。このように、現代社会を支える情報・科学技術の運用には"大学で数学を修めた人材"が必要不可欠とされており、数理科学科ではコンピュータ関連をふくむ広範囲な分野の数学が学べるようになっています。また、数理科学科では中学校や高校の数学教員の養成も目標のひとつにしており、生徒が抱きがちな「なぜ数学を学ぶのか?」という疑問に向きあい、答えることができる教育理論の修得にも注力しています。

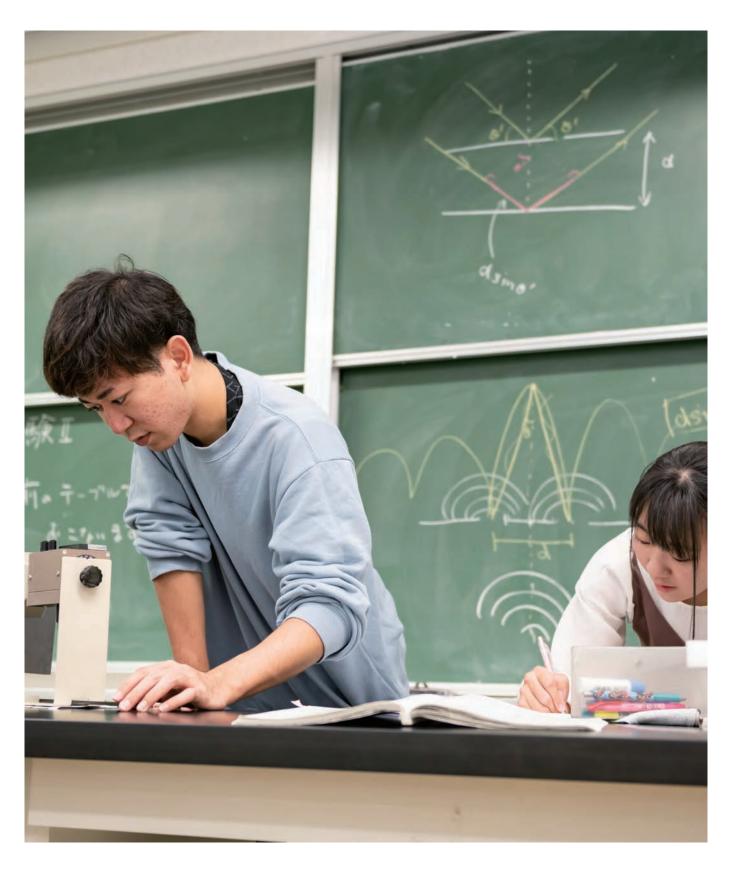


物質・素粒子・宇宙から大気圏・水圏・岩石圏まで、物理系と地学系の各分野に広がる専門学修

02

物質地球科学科

Department of Physics and Earth Sciences





物理系

物理学には物質の電気的、磁気的、光学的な性質などを 研究する物性物理学、素粒子とその運動法則を探求する 素粒子物理学、宇宙を対象とする宇宙物理学などの分野 があります。物理系ではそういった分野の基礎が学べる 科目を配置し、物理学を体系的に理解していきます。

研究分野

物性理論 宇宙物理学 素粒子論

数理物理学 固体物性 凝縮系物理

固体物理



地学系

上空の大気圏、海洋を主とした水圏、地上・地下の岩石 圏、これらでの現象について、地質学・物理学・化学・生物 学などの手法を用いて研究します。また、海に囲まれた亜 熱帯島嶼という沖縄の特性を活かし、琉球島弧や周辺の 海底の地質とその成り立ち、火山・地震の活動、サンゴ礁 海域の地学的環境問題、黒潮、亜熱帯気象、台風などが 研究できるのも特色のひとつです。

研究分野

海洋物理学 海洋微古生物学 気象学

海洋環境地学 岩石鉱物学 地震学 古生物学

求める人材像 Admission Policy

物理系

物理系では教育理念・目的に基づいて、 次のような人を求めています。

- ●基礎学力を備え、科学的好奇心に富み、 探究心や勉学意欲の強い人
- ●科学的な基礎知識や思考法を学び、 それらを社会人として生かしたい人
- ●物理系の勉学を基に、広い意味での科学者として 自らを磨く人

地学系

地学系では地球と海洋に関する自然現象に興味をも ち、意欲的に地球科学の知識を身に付け、探究心に 富む人を求めています。

特に熱帯・亜熱帯域の島弧や海洋で起きている自然 現象に興味のある人を求めます。



海洋自然科学科

Department of Chemistry, Biology and Marine Science





化学系

物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、海洋化学を 学び、多様な物質の反応や構造、機能を分子科学的に学 びます。また、物質の物性や構造、水素エネルギー、化学 センサー、新規物質の創成に関する基礎研究、越境物質 の大気化学など亜熱帯島嶼・海洋の地域特性を活かした 研究を行います。

研究分野

 錯体化学
 水素貯蔵材料化学
 海洋天然物化学
 界面化学

 分析化学
 環境化学
 地球化学
 物理化学
 有機化学

 光化学·有機物理化学
 無機化学
 有機合成化学

 有機金属化学
 機能材料化学·電気化学
 天然物化学

 海洋無機化学



生物系

琉球列島の自然環境を活かし、多様な生命現象と基本原理の理解をもって、さまざまな分野で生物学の学識と技能を発揮する人材を育成します。またサンゴ礁・島嶼生態系の包括的な理解と保全をめざした研究を進め、生物多様性と生命現象の基本原理解明に向けた多角的・総合的研究を展開します。

研究分野

植物分類学 サンゴ礁学・生理生態学・海洋環境学

魚類学(魚類の生活史) サンゴ礁生物生理学 動物生態学

植物細胞生物学 魚介類分子遺伝生態学 植物系統進化学

藻類細胞生物学 分子生理学 植物生態学 海洋生態学

海洋無脊椎動物学(生態·形態·系統分類学) 環境生理学

藻類学 頭足類学・動物行動学

求める人材像 Admission Policy

化学系

化学系では琉球大学の求める学生像に従い、自然を化学の目を通して見ることに興味をもち、本系が提供する教育カリキュラムで修得した知識や技術等を社会に還元し、学術研究の後継者、産業界をリードする技術者及び化学の教育を担う教師のみならず教育界のリーダー的存在となる人材を求めています。したがって、化学系では次のような資質を持った人を求めています。

- ●物質や自然環境の成り立ちについて興味を持っている人
- ●化学を学ぶための基礎知識を備えた人
- ●修得した化学の知識や技術等を社会に役立てたい人

■ 一般選抜

上記の基本方針に基づき、基礎的な学力と思考力を備え、琉球 大学で学ぶ強い意志を有し、本系で修得した知識や技術等を社 会の役に立てたいという意欲のある人を求めています。

■ 学校推薦型選抜 II (共通テストを課す)

上記の基本方針に基づき、一般選抜と同等の基礎学力を有し、 自然を探求することに意欲的な人を求めています。

生物系

生物系では、地域国際社会で生物学が果たすべき役割を視野に入れながら、琉球列島の豊かな自然環境がもつ特色を最大限に生かし、多様な生命現象とその根底にある基本原理の理解を目指した教育・研究を行っています。こうした理念のもと、生物系では次のような人を求めます。

- ●多様な生命現象と生物を取り巻く自然環境に興味をもち、 深く学びたいという意欲のある人
- ●自らの目標に向かって主体的に物事を考え、 積極的に行動できる人
- ●生物学を学ぶために必要な基礎知識を備えている人

学校推薦型選抜 I (共通テストを課す) では、これらに加えて、 海洋の生物資源にも興味のある人を求めています。

医学と保健学に関する 専門知識と技術を修得し 地域医療水準の向上を目指す



医学部

D1 医学科
School of Medicine

GROWN REALTY Sciences Chool of Health Sciences





Faculty





01

高度な学術能力に豊かな人間性を兼ね備え、人々から信頼される医師を育む

医学科

School of Medicine



医学科は医学に関する専門の知識と技術を修得すると共に高い倫理性を身につけ、医学・医療の進歩や社会的課題に柔軟に対応できる医師や研究者を育成することを目的としています。加えて、沖縄県の自然的・地理的、および歴史的な特性をふまえ、島嶼環境における地域完結型医療の構築に努めます。また、国際性豊かな医学部・医学科として、アジアを主とする諸外国・地域との学術交流を通じ、国際医療に寄与することもめざします。

あわせて入学試験も通常の「前期・後期」の他、「学校推薦 型選抜(地域枠)」と「2年次特別編入学(学士入学5名)」 の計3種類を実施、多様な個性が切磋琢磨しあう環境を 提供しています。



1年次

共通教育科目と なぜ 専門教育を タ かんして学ぶ

共通教育科目と並行して専門教育もスタート。前期は分子細胞生物学など医学の基礎知識・最新医学トピックを学びます。早期体験学習を経て後期は、人体の構造と機能、解剖学実習など基礎医学を学びます。

2年次

なぜ病気になるのか メカニズムを 理解する

微生物・免疫学、薬理学などの基礎医学講義・実習を通じ病気が発生するメカニズムを学びます。後期には臓器別・部位別の臨床講義が始まります。医学外国語では論文情報収集・解析法を学びます。

3年次

医学全体を 俯瞰できる力を 養う

3年次は臨床医学系講義に加え、離島地域病院実習と 12月から基礎教室を中心とした医科学研究に取り組みます。教室で国内外の研究室の紹介を受け、医学研究を深める制度も用意しています。

4年次

臨床実習のための 共用試験に挑む

前期は臨床推論、基本的臨 床手技を学びます。衛生学・ 公衆衛生学など医療学総論 を受け、臨床実習実施前に標 準評価試験として共用試験を 実施します。試験合格者は後 期より臨床実習に臨みます。

5.6年次

多様な実習を経て 医師国家試験合格を 目指す

各診療科病院実習、内科など プライマリケアを中心にクリ ニカルクラークシップに臨 み、医師業務に近い実習に参 加します。総合試験などに合 格し卒業見込みとなれば医 師国家試験を受験します。

- ●医学科は基礎系と臨床系の分野が有機的に関連しつつ教育・診療・研究の体制を整え、6年間の一貫教育を行います。
- ●4年次1学期までは基礎医学系、臨床医学系の基礎的知識の修得、実験、実習が主となり、4年次2学期から患者さんを対象とした 臨床実習を指導します。
- ●5年次の総合試験 I、6年次の総合試験 II、III を経て医師国家試験を受験します。これに合格して初めて医師となりますが、 2年間は初期臨床研修が義務づけられています。
- ●その際、各診療科は他の教育関連病院や地域医療施設と協力して卒業生の研修を指導します。
- ●研修後、多くは大学病院や他の病院の臨床医として、さらに研鑽を重ねます。医学の知識を活かして医系技官等に進む道もあります。
- ●また、臨床や生命科学、社会医学の発展をめざして研究に取り組む卒業生も多く、そのために大学院博士課程へ進学するのも選択肢のひとつです。

求める人材像

Admission Policy

■一般選抜

- ●地域医療に貢献するための県民・地域住民意識をもてる人
- ●生命現象や国内外の医学・医療に強い関心がある人
- ●責任感が強く、人の身になって考え、行動できる人
- ●常に自己点検を行い、自己啓発ができる人
- ■創造性に富み物事を理論的に整理・展開できる人
- ■医学を学ぶ基礎学力を有する人
- ●主体性をもって多様な人々と協働して学ぶことができる人

■ 学校推薦型選抜Ⅱ(共通テストを課す)(地域枠、離島・北部枠)

- ●沖縄県の地域医療に貢献するための県民・地域住民意識をも てる人
- ●地域の要請が高い診療科を選択し、診療科偏在の是正に貢献できる人
- ●生命現象や国内外の医学・医療に強い関心がある人
- ■自分の置かれた社会的・地域的立場をしっかり意識できる人
- ●学習意欲の維持並びに自己学習ができる人
- ●主体性をもって多様な人々と協働して学ぶことができる人

入学後に行う看護学か検査技術学のコース選択により、 地域や国際社会に貢献する保健医療福祉の専門職者へ

保健学科 School of Health Sciences



保健学科は、生命尊重の倫理観、科学的根拠に基づく実践力を有する看護師や臨床検査技師などの保健医療福祉の専門職者、および研究者・教育者の育成を目指しています。保健医療福祉の分野が対象とする国際社会や地域、個人には、多様な歴史背景、価値観、健康に関するニーズがあることから、生命倫理だけでなくこれらの問題にも対応できる人材を養成するための専門的な教育も充実させています。さらに保健医療福祉の専門職者に不可欠な生涯にわたる学習ができるよう、学生の自主性、思考力、探求力、問題解決能力を高める取り組みも行っています。入学試験では「前期・後期」のほか、「学校推薦型選抜」、「帰国生徒」、「私費外国人」の計4種類を実施し、多彩な人材の獲得にも努めています。このように保健学科では、多種多様な学生がお互いを高めあいながら、日々研鑽を積んでいます。



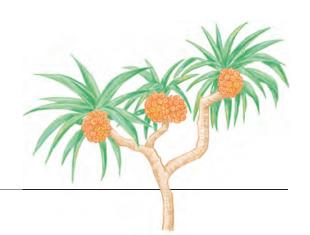
| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | |
|-------------------|---|---|---|--|--|
| | 主に大学の共通教育等科目を履修します。 | 「看護学コース」と「検査技術学 コース」にわかれ、それぞれの専 門科目を学修しながら病院、地域、 学校などで臨地実習を行います | 3.4年次は各自が興味のある研究室で教員の指導を受けて卒業研究に取り組みます。なお保健学科では看護師、保健師、助産師、臨床検査技師の 国家試験受験資格の取得の他、養護教諭や健康食品管理土の養成も行っ ています。 | | |
| 共 保 通 健 科 学 | ●生命倫理学や解剖学・組織学、 生理学、保健福祉政策論、保健 関係法規等を実施。 | ●疫学、薬理学、免疫学を実施。 | ●卒業研究に取り組む。 | ●卒業研究に取り組み、後期の 発表後は各自、国家試験の準備を 本格化する。要望に応じて、教員 による国家試験対策授業を実施。 | |
| コ看 | ●第2クォーターに看護学概論、 第4クォーターに生活援助看護 技術 I および生活援助看護技術 実習 I を病院で実施。 | ●症候病態論、小児・母性・成人・ 高齢期等の看護師に必要な科目 を実施。保健師や養護教諭の希 望者を対象とする選択科目・教職 科目を開始。 | ●小児・母性・成人・高齢期・精神・在宅看護学、緩和ケア論等の看護師に必要な科目を実施。第4クォーターに在宅・母性看護学臨地実習を実施。 | ●第1・2クォーターに小児・精神・成人急性期・成人慢性期看護学 実習等の看護師に必要な臨地実 習を実施。第3・4クォーターに助 産師、保健師、養護教諭に必要な 臨地実習を実施。 | |
| コース 検査技術学 | | ●臨床血液学、臨床検査総論、病態生理学、医用電子工学、保健統計学等の臨床検査技師に必要な科目を実施。 ●食品衛生学など、健康食品管理士希望者を対象とする選択科目を実施。 | ●臨床微生物学、臨床病態学総 論、臨床生理学I・II、保健技術 学実習I・II等の臨床検査技師に 必要な科目を実施。 | | |

求める人材像 Admission Policy

本学科は看護、臨床検査、国際・地域保健等の分野でリーダーシップを発揮し、活躍できる人材の育成を目指します。そのため、以下の資質を備えている人を求めています。

- ●生命科学、保健・医療・福祉に強い興味と関心をもち、主体的に学ぶ意欲のある人
- ●生命を尊重し、相手の身になって行動できる人
- ●自らの目標に向かって自己啓発し、多様な人々と協働ができる人
- ●論理的に物事を考え、科学的に解決する意欲のある人

生活を豊かにする 工学技術を学び 社会に貢献



学

工学科

School of Engineering

- 機械工学コース Mechanical Engineering Program
- エネルギー環境工学コース Energy and Environment Program
- 電気システム工学コース 03 Electrical and Systems Engineering Program
- 電子情報通信コース Electronic and Communication Engineering Program
- 社会基盤デザインコース Civil Engineering Program
- 建築学コース Architecture and Building Engineering Program
- 知能情報コース Computer Science and Intelligent Systems Program



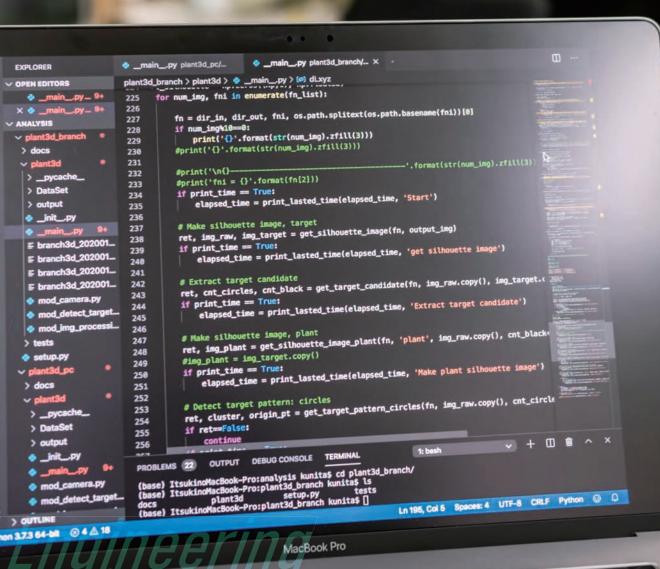
Faculty

0

0

敬

昭



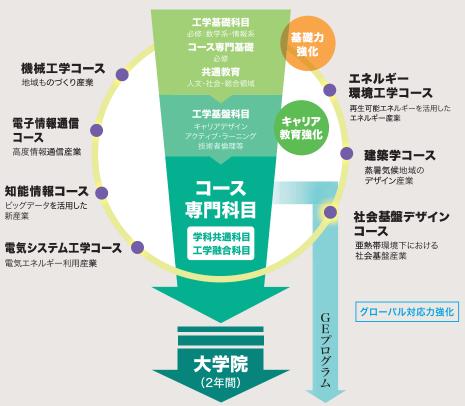
新産業や新たな価値の創造に取り組む7コースと

6年間一貫教育のGE*プログラムを設置

※Global Engineer / グローバルエンジニア

工学科

School of Engineering



強みを活かした人づくりと研究力・開発力強化で 安心・安全で豊かな地域社会の実現をリード

求める人材像 Admission Policy

- ■工学を学ぶ意欲と目的意識を有し、高等学校で学んだ基礎学力を身に付けた人
- ●修得した知識等を活用するための思考力、判断力、表現力を身に付けている人
- ●様々な諸課題を与えられた条件下で最良の結果を得るために主体的に努力できる人

■ 一般選抜(前期日程、後期日程)

十分な基礎学力を有し、特に数学並びに物理に優れている人。

■ 総合型選抜 [(共通テストを課さない)

十分な基礎学力を有するとともに、高いコミュニケーション能力を もち、各コースの専門分野に対する学習意欲が強い人。自らの目標 に向かって主体的に物事を考え、積極的に活動してきた人。

■ 学校推薦型選抜 II (共通テストを課す)

十分な基礎学力を有し、高等学校において優秀な成績を修め、積極的に活動してきた模範的な人。各コースの専門分野への強い向学心を有する人。

従来の機械システム工学を学びつつ、

01

次世代の"ものづくり"におけるスペシャリストを養成

機械エ学コース Mechanical Engineering Program



機械工学コースでは、ものづくりに関する科目を初年次から 体系的に学んでいくことが可能で、材料力学、機械材料および 加工学、流体力学、熱力学、機械制御などの広範囲におよぶ機 械工学の基礎を学び、多様な分野への応用ができるようになっ ていきます。

機械工学はあらゆる産業の基幹となり、就職先からのニーズ も高く、卒業生はさまざまな分野で活躍しています。グループ ワークによる実践的な科目を通じ、コミュニケーション、問題解 決、自立した"ものづくり"能力を育むことができます。

研究分野

金属疲労 無機材料 流体計測 バイオディーゼル 材料の損傷検知 超音速流れ マイクロバブル 燃料電池 数値シミュレーション 衝撃波 熱物質移動工学 パソコンの冷却 ゴムの力学 ジェットエンジン 太陽熱利用 知的制御 亜熱帯資源 (バガス、月桃等) を用いた複合材料 数値流体力学 海水濃縮技術 自動車の自動操縦 乱流制御 エネルギーの有効利用 海洋ロボット 高分子工学 流れの可視化 内燃機関(エンジン)工学 ロボット制御

02

さまざまな分野のエネルギー環境問題を 総合マネジメントカで複合的に解決できる知識と技術を学ぶ

エネルギー環境工学コース

Energy and Environment Program

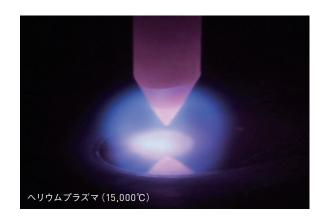


エネルギー環境工学コースは、将来のエネルギー供給や環境保全・共生など、私たちが生きていくうえで重要な課題となっている、いわゆるエネルギー環境間題を機械・電気工学という学問によって解決しようとする人材を育成します。

環境に配慮した材料などの専門的知識を駆使し、効率的なエネルギー変換や制御、環境負荷を低減する技術の開発を行い、さまざまな分野での利用へとつなげていける統合マネジメント力とコミュニケーション基礎能力のある技術者にまで成長することをめざします。

研究分野

流動及び熱・物質移動工学 材料力学 相転移論 数理工学 塑性力学 制御工学 材料加工学 流体工学 熱力学 ナノ熱流動 水素エネルギー 燃料電池 海水淡水化

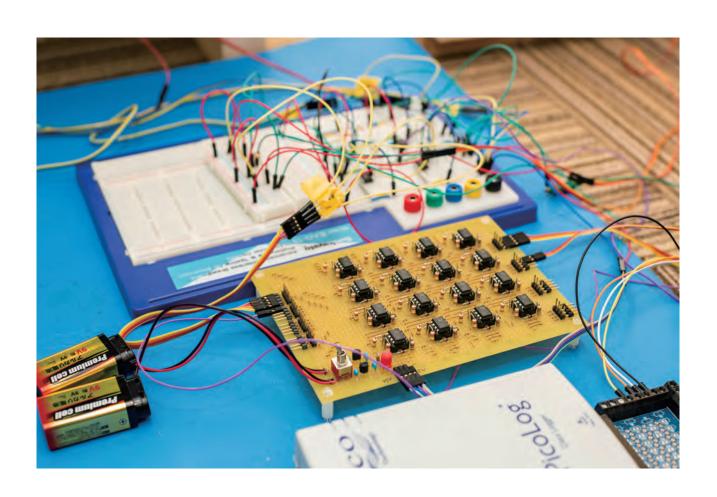


工学科

再生可能エネルギーやスマートヘルスケア、 私たちの豊かな暮らしを電気システムでもっと豊かに

電気システム工学コース Systems Program

Electrical and Systems Engineering Program



電気エネルギーは私たちが暮らす社会では必要不可欠です。 しかし今、環境問題解決のために電気エネルギーのあり方を変 える技術が求められています。

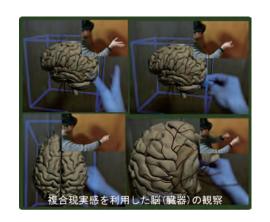
電気システム工学コースでは、再生可能エネルギー、新電カシステム・スマートグリッド、ロボット、スマートヘルスケアなど社会のニーズに応えられる電気工学や工業数学、システム工学の専門知識を学べます。また幅広い教養と語学を習得でき、コミュニケーション能力を育みます。電気主任技術者、電気工事士などの資格取得も可能です。

研究分野

磁気工学 電力システム工学 プラズマ工学

電力工学 電気機器工学 制御・システム工学

ロボティクス 生体医工学 大気電気学



すべての産業基盤となる技術を習得・実践し、 安全・安心・健康で豊かな社会を実現する技術者を育成

電子情報通信コース Communi

Electronic and Communication Engineering Program



電子情報通信コースでは、すべての産業を支える基盤技術である電子情報通信技術について学び、高度な専門知識を身につけ、新たな応用分野を切り拓くことができる人材育成をめざしています。

持続可能な社会を実現するには、発電、組込、計測、高速大容量の情報通信技術等の開発が今まで以上に重要です。また最近では、さまざまな機器がインターネットに接続され、新しい社会変革が始まっています。

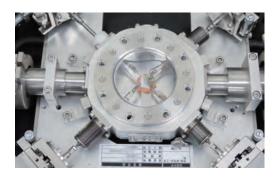
当コースでは、これらの技術を幅広く体系的に学べる実践的なカリキュラムを用意しています。

研究分野

無機・有機電子デバイス VLSI設計・組み込み技術

情報通信技術 情報処理・解析技術 計測技術

光計測工学 画像工学 コンピュータアーキテクチャ



自然環境調和型の社会基盤づくりと 環境問題の解決に貢献できる専門技術者を育成

05

社会基盤デザインコース Civil Engineering Program



社会基盤デザインコースでは、亜熱帯性・島嶼性・海洋性の地理的特性を活かし、自然環境に調和した空港や道路、橋、鉄軌道など公共交通システムや、地域の観光リゾート産業を支える持続可能な社会基盤を創り、気候の変動や新エネルギー開発に関わる海洋・海底資源の開発、防災・減災、環境保全などのグローバルな諸問題解決に貢献できる専門技術者を養成します。

持続可能な社会基盤をデザインするために必要な多面的な 視点から計画・設計・建設・維持管理までを体系化した専門知識 を修得できます。

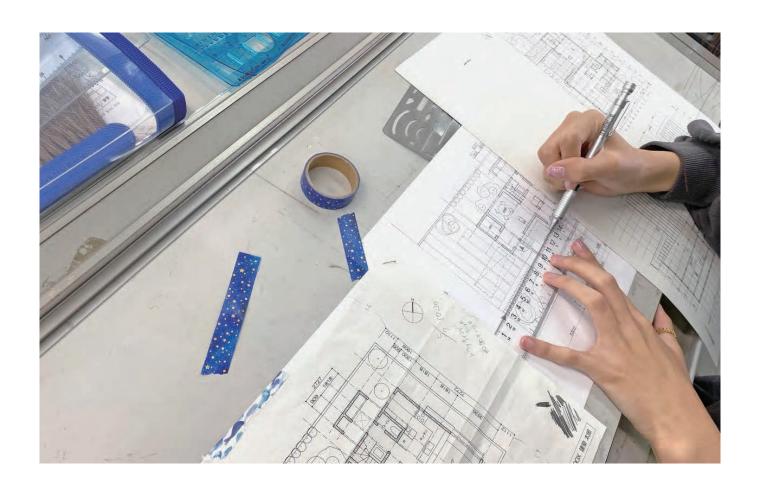
研究分野

災害リスクマネジメント環境計画景観計画海岸工学海洋環境河川工学流体力学岩盤工学地盤環境工学鋼構造工学腐食防食維持管理工学建設材料学コンクリート工学シミュレーション計算力学



人・社会・自然の共生を図り 国内外で活躍できる建築技術者を育成

建築学コース Architecture and Building Engineering Program



建築学は、人間が安全・安心・豊かに生活するための生活空 間を築く知識と技術の体系です。自然災害への理解、風雨が建 物に与える影響、建築材料の知識、丈夫な建物をつくる技術が 必要です。快適な建物を実現するために、人と環境の関係から 空気やエネルギーの流れを考慮します。さらに文化的側面や、 都市計画まで包括します。

建築学コースでは沖縄の特色ある自然、文化、社会のもとで 地域に根差した建築を探求しながらも、普遍的な技術を習得 し、国内外で活躍できる建築技術者を養成します。

研究分野

| 建築デザイ | ン | 建築計 | 画 | 都市計画 |
|-------|----|-----|----|---------------|
| 地域生活空 | 2間 | 環境工 | 学 | 建築設備 |
| 建築材料 | 建筑 | 築施工 | 建筑 | 楽生産 |
| 建築構造 | 耐熱 | 震工学 | 建等 | è 防災工学 |



より良い情報社会実現のために 高度な技術と柔軟な発想力・温かな人間性を備えた人材を育成

知能情報コース Computer Science and Intelligent Systems Program



「情報通信産業の高度化・多様化」が沖縄県策定の「沖縄21 世紀ビジョン」構想実現における大きな原動力として期待されて います。

本コースでは、①コンピュータシステム②コンピュータ応用(ロ ボット・人工知能等)③情報通信の3分野に加え、④データサイ エンス (ビッグデータ収集分析等) ⑤ネットワークセキュリティと いう新しい2つの分野の研究環境も充実しています。

世界的競争力のあるイノベーションを創出できる技術者、高い 技術力、柔軟な創造力と温かな人格を備えた人材を育成します。





研究分野

データサイエンス 情報メディア工学 人工知能

創発知能ロボット工学 ディジタル通信システム

ネットワークシステム情報工学 生体情報システム

複雑系工学 システム数理

ネットワークモデリング・制御 並列計算

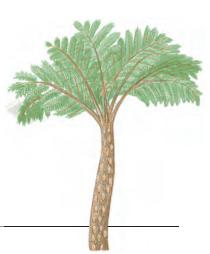
ネットワークセキュリティー ハードウェア記述言語

ディジタルシステム設計 知的信号処理

HCI (Human-Computer Interaction)

xR BodySharing

亜熱帯地域に位置する
 国内唯一の農学部
 研究フィールドは目の前に



農学部

01 亜熱帯地域農学科

Department of Subtropical Agro-Production Sciences

02 亜熱帯農林環境科学科

Department of Subtropical Agro-Environmental Sciences

03 地域農業工学科 Department of Regional Agricultural Engineering

更熱帯生物資源科学科 Department of Bioscience and Biotechnology





Facul

国際的視点から地域の農林水産業の振興を促す人材や 農業と地域社会の共生の仕組みが構築できる人材を育成

亜熱帯地域農学科 Department of Subtropical Agro-Production Sciences



農林経済学コース

持続的食料自給システム、都市と農山村との循環型社会、 農業政策学、農産物流通学、森林政策学、森林環境経済 学、アグリビジネス論、比較林政学、森林経営計画学など。

植物開発学コース

亜熱帯地域に適応した植物育種の展開、未利用植物資源の開発及び持続的生産技術の構築、基礎遺伝学、熱帯果樹園芸学、蔬菜園芸学、鑑賞植物園芸学、植物開発 学演習、園芸学実験など。

循環畜産学コース

家畜生産を通じた地域資源循環型農業、熱帯畜産論、家 畜飼料学、家畜環境管理学、家畜行動管理学、家畜衛生 管理学実験など。

農林共生学コース

フィールドを活用した動植物生産、人間と動植物の多面 的関係を通じた新たな農林共生、緑化修景施工論、園芸 福祉学概論、作物栽培環境学、畜産共生技術論、畜産周 辺関係学、森林ツーリズム論、森と人間の文化論、森林 情報計測学など。

求める人材像 Admission Policy

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを 志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したい という意欲に溢れる次のような人を求めています。

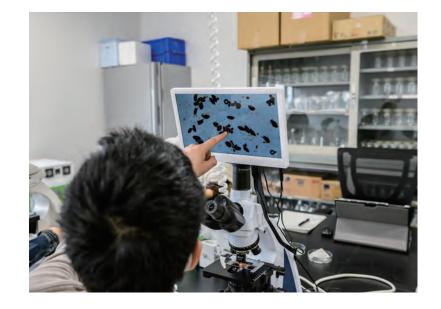
- ■国際的な視点で地域農林畜産業の振興に貢献したい人
- ●地域生物資源の循環システムに基づく持続的農業生産に取り組みたい人
- ●農業と地域社会との共生の仕組みを考えたい人
- 一般選抜では特に次のような学生を求めます
- ●農学を広く学ぶうえで基礎的な知識・技能を習得した人
- 総合型選抜 I(共通テストを課す)では特に次のような学生を求めます
- ●琉球大学農学部亜熱帯地域農学科に入学することを強く望み、地域社会に貢献する強い意志をもつ人
- ●高校生のときに熱意をもって取り組んだ活動実績がある人
- 学校推薦型選抜 [(共通テストを課さない) では特に次のような学生を求めます
- ●農林畜産業の分野に関心があり、社会(または地域社会)に貢献する強い意志をもつ人

研究分野

森林政策学 森林経済学 農業経済学 農業市場学 花卉園芸学 蔬菜園芸学 植物育種学 家畜栄養学 家畜管理学

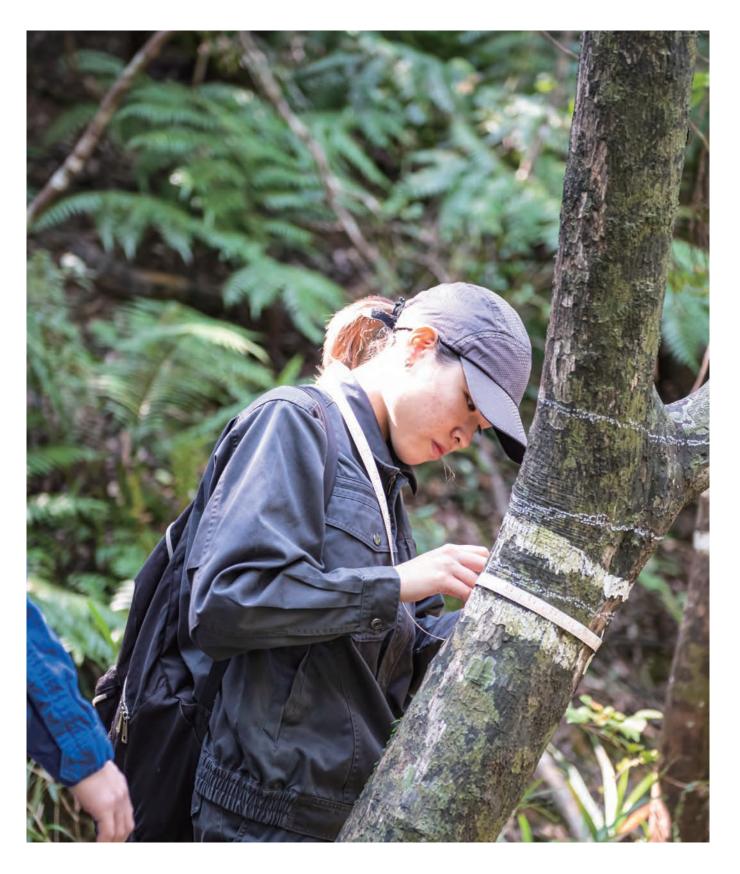
熱帯植物栽培学 緑地管理学 里山環境学

畜産学·草地学 森林計画学



植物と動物の生産や環境に関する分野で活躍する人材、 琉球弧や地球レベルの生態系保全に貢献できる人材を育成

亜熱帯農林環境科学科 Department of Subtropical Agro-Environmental Sciences



植物機能学コース

植物の生理・生態的特性を基礎にした効率的な作物生産、地域特有の有用作物の栽培手法とその利用、植物に発生する各種病害(ウイルス、カビ、線虫など)の同定・診断、発生・生態と環境に配慮した各種防除法に関する専門的知識を修得します。

動物機能学コース

熱帯・亜熱帯で飼われている動物を対象に、環境との相互 作用の視点から動物の遺伝育種・繁殖・生理・形態などの 特性解明と技術開発に関する専門的知識を修得します。

森林環境学コース

森林生態系や都市緑地の保全と持続的な森林資源の利活 用、自然環境に配慮した森林造成、環境負荷の少ない循環型 林業の実践、森林や都市の樹木の病害防除、自然災害の軽 減と流域等のリスク管理に関する専門的知識を修得します。

牛熊環境科学

昆虫を主とする野生動物と土壌環境の特性・機能の解明 と利用技術に関する専門的知識を修得します。

求める人材像 Admission Policy

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを 志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したい という意欲に溢れる次のような人を求めています。

- ●生物資源・環境の機能や特性の解明に興味をもつ人
- ●生物生産と自然環境との調和を目指す人
- ●生物多様性の理解を通じて環境保全に貢献したい人
- 一般選抜では特に次のような学生を求めます
- ●農学を広く学ぶうえで基礎的な知識・技能を習得した人
- ■総合型選抜Ⅱ(共通テストを課す)では特に次のような学生を求めます
- ●琉球大学農学部亜熱帯農林環境科学科に入学することを強く望み、地域社会に貢献する強い意志をもつ人
- ●高校生のときに熱意をもって取り組んだ活動実績がある人
- 学校推薦型選抜 I (共通テストを課さない) では特に次のような学生を求めます
- ●生物生産・資源や自然環境の分野に関心があり、社会(または地域社会)に貢献する強い意志をもつ人

研究分野

 作物学
 作物生理学
 植物病理学

 植物ウイルス病学
 植物線虫学
 家畜育種学

 家畜繁殖学
 動物機能形態学
 家畜ゲノム科学

 家畜生理学
 造林学
 樹木生理生態学

 森林生態学
 森林水文学
 総合流域管理

 森林保護学
 生態学・環境学
 植物栄養学

 進化生態学
 土壌学
 保全生物学



03

地域農業工学科

Department of Regional Agricultural Engineering



バイオシステム工学コース

機械工学や情報工学を応用し、情報・通信・電子技術等のICTを駆使した農業生産システムのスマート化や農産物の鮮度・品質を把握し、流通・加工システムの効率化や情報化を図るとともに、亜熱帯・島嶼環境に適した持続的生産システムと地域の生物資源の有用な開発・管理に関する教育・研究を行います。

地域環境工学コース

「JABEE 認定プログラム」※として、国際的な技術者教育の基準に適合した教育を提供します。水・土・大気の基本的な性質の理解を土台に、土木・環境工学を活用して環境調和型の基盤システムや農地を整備し、美しい景観と土砂災害のない安心かつ安全な農村の創成と保全に関する教育・研究を行います。

※JABEE 認定プログラム: 日本技術者教育認定機構 (JABEE) の技術者教育における認定基準に適合した学習成果を重視した教育プログラム

求める人材像 Admission Policy

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを 志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したい という意欲に溢れる次のような人を求めています。

- ●農業生産から流通・加工に係わる食料システムの構築に興味がある人
- ●豊かな農村空間の創出、確かな農村基盤の整備、防災及び農村環境の保全に関心がある人
- ●農と自然との調和に関する工学的探究に興味がある人
- 一般選抜では特に次のような学生を求めます
- ●農学を広く学ぶうえで基礎的な知識・技能を習得した人
- 総合型選抜 II (共通テストを課す) では特に次のような学生を求めます
- ■琉球大学農学部地域農業工学科に入学することを強く望み、地域社会に貢献する強い意志をもつ人
- ●高校生のときに熱意をもって取り組んだ活動実績がある人
- 学校推薦型選抜 [(共通テストを課さない) では特に次のような学生を求めます
- ●農業・農村の環境や農業生産システムに関心があり、社会(または地域社会)に貢献する強い意志をもつ人

研究分野

農業土木学 農村計画学 農業水文

農業造構学 水利環境 土地環境保全学

地下水工学 農村環境保全 自然災害科学

農業食料工学 生産システム工学

農業環境工学 農業情報工学

ポストハーベスト 農産施設工学

農業機械学



04

亜熱帯の沖縄は生物資源と食資源の宝箱。私たちと一緒に宝探しの旅に出よう!

亜熱帯生物資源科学科

Department of Bioscience and Biotechnology



生物機能開発学コース

亜熱帯の生物資源の機能特性を分子から生体レベルで 追求し、人類の福祉に有効な機能性素材の開発や利用 に関する専門的知識を修得します。

研究分野

糖鎖科学 林産科学 多糖類機能化学 遺伝子工学

生物活性物質学

食品機能科学コース

食品の機能性を健康維持、増進の観点から追求し、新たな食品素材を開発すると共に、健康生活の向上に関する専門的知識を修得します。

研究分野

栄養生化学 食品化学 食品機能学 食品製造·加工学

発酵・生命科学コース

地域特性を生かした発酵食品の開発、ならびに亜熱帯生物資源の生命現象の解析とその応用に関する専門的知識を修得します。

研究分野

発酵微生物学 応用微生物学 微生物利用学 醸造微生物学

タンパク質工学

健康栄養科学コース

人間栄養学の観点から食を科学的かつ実践的にとらえ、 地域の特性を考慮した健康・長寿社会の実現に関する専 門的知識を修得します。

研究分野

食品分析学 給食管理·食育 健康栄養学 食品学·栄養指導

食品成分化学

求める人材像 Admission Policy

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを 志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したい という意欲に溢れる次のような人を求めています。

- ●生物資源の利用・開発及びバイオテクノロジーに関心のある人
- ●健康の保持増進に有効な機能性食品の開発に興味をもつ人
- ●発酵科学を通じて食品・医薬産業に貢献したい人

健康栄養科学コースでは現代社会の抱える様々な健康をめぐる諸問題に向き合い、栄養学と食育を通じて社会発展に寄与する意欲のある次のような人を求めています。

- ●栄養学・食育を通じて地域社会の健康の保持増進に貢献したい人
- 一般選抜では特に次のような学生を求めます
- ●農学を広く学ぶうえで基礎的な知識・技能を習得したい人
- 総合型選抜 II (共通テストを課す) では特に次のような学生を求めます
- ■琉球大学農学部亜熱帯生物資源科学科で意欲的に学ぶことを強く望み、主体性をもって社会に貢献する強い意志をもつ人
- ●現在までに主体性をもって多様な人々と協働して学んだ活動実績がある人
- ●健康栄養科学コースでは、上記に加え、栄養士の専門性を活かしたリーダーとして幅広く社会で活躍したい人
- 学校推薦型選抜 [(共通テストを課さない) では特に次のような学生を求めます
- ●亜熱帯生物資源の機能開発や高度利用に関心があり、社会に貢献する強い意志をもつ人(健康栄養科学コースでは、学校推薦型 選抜を行いません)

CAMPUS LIFE SCHEDULE

キャンパスライフ 年間スケジュール



琉大祭における躰道部の演舞





CLUB&CURCLE

クラブ&サークル

文化系

LIBERAL ARTS

- フォーククラブ
- アカペラサークルうたゆん
- 法政エイサー
- ■ウミガメ研究会ちゅらがーみー
- 吹奏楽部
 - 作物園芸サークル
 - モダンジャズオーケストラ
 - スターダスト(天体)
 - ■ロック同好会
 - スタジオジャグリ(ジャグリング)
 - ■管弦楽団
 - ■映画研究会
 - e スポーツサークル
 - 文芸部
 - 写真部
 - こなもん (料理)
 - FORCE (イベント)
 - 茶道研究クラブ

■ JAZZ 研究会

- カスタム琉大(車)
- 演劇部劇団テトラ
- ■将棋部
- アートクラブ
- 手芸部
- IoT 組込みサークル (工学)
- ライトノベルサークル
- 競技かるたサークル
- 琉球芸能研究クラブ
- ■放送クラブ
- ■漫画研究会
- 囲碁部
- 落語&お笑いサークル
- 琉大ボードゲームサークル
- Ryudai Toastmasters (語学)
- 社会科学研究会
- ■書道部

医学部

- ■熱帯医学研究会
- Off the Clock (研究)
- ■地域医療研究会
- ■中国医学研究会
- IFMSA-Ryukys (研究)
- 国際級カサークル (URIC)
- 医学部軽音楽部



体

F 平

ATHLETE

- バドミントン部
- ダイビングサークルMARiN
- 弓道部
- アメリカンフットボール部
- ■硬式野球部
- ■卓球部
- バレーボール部
- ダイビングクラブ
- スポーツ同好会
- R-Family (ダンス)
- アイスホッケー部
- ラグビー部
- 琉球デルソーレ (フットサル)
- バスケットボール部
- ハンドボール部
- ソフトテニス部
- ■硬式テニス部
- ゴルフ部

- アルティメットサークル
- Surf Team (サーフィン)
- ■水泳部
- 陸上競技部
- 合氣道部
- 剣道部
- ■サッカー部
- チアリーディング部 Rays
- ウインドサーフィン部
- 空手道部
- 躰道部
- ■3×3バスケサークル
- 体操部
- 柔道部
- フィギュアスケート部
- sk8 crew (スケートボード)
- ■馬術部
- プロレス同好会
- ラクロス部

医学部

- ■準硬式野球部
- ■水泳部
- ■ラグビー部
- バドミントン部
- ボードセイリング部
- バレーボール部
- ■サッカー部
- ダンス部
- バスケットボール部
- フットサルクラブ
- 空手道部
- 弓道部
- ダイビング部
- 剣道部
- ■ゴルフ部
- ■ハンドボール部
- ■硬式テニス部
- ■陸上競技部



他のサークル等については QRコードから 知の殿堂」





附属図書館は本館と医学部分館からなり、あわせて約100万冊の図書・雑誌が利用できます。 資料の閲覧・貸出のほか、本館には学生のアクティブな学びをサポートするラーニング・コモンズや、 グローバル教育の活動の場であるグローバル・コモンズ津梁など多様な学修スペースがあります。 また、レポートの書き方や履修方法に関して

大学院生からアドバイスを受けられる相談窓口も設けています。









充実した学修支援体制

●豊富な学生用図書

学生や教職員からのリクエストも受けながら、毎年約1万冊の図書を購入し、琉球大学の幅広い分野の学修活動を支援しています。紙の資料だけではなく、館外からインターネットを通して利用できる電子資料も多数揃えています。

●沖縄研究資料の利用サポート

デジタル化した上で解説や英訳を付けた貴重書画像や、沖縄 関係の文献情報を収録したデータベースをインターネット上 で公開し、琉球大学ならではの沖縄研究資料の利用を強力 にサポートしています。

●きめ細かな学修サポート

資料や情報の調べ方や使い方をわかりやすく説明したガイドブックや講習会などを用意しているほか、サービスカウンターでも随時サポートします。

●多彩な学修エリア

一般的な閲覧席だけでなく、会話しながらのグループ学修や プレゼンテーションに適したエリア、パソコンを配置したエリ ア、一人で集中して学修できるエリアなど、学修方法に応じて 選ぶことができる多彩な学修エリアを用意しています。

●グローバル化支援

館内には留学や語学学習のための資料や支援が充実したエリアを用意しています。自由に会話のできるスペースですから、グループで声を出して外国語会話の練習をすることもできます。

●学生の立場に即したピアサポート

大学院生がレポートの書き方や学修方法をアドバイスする ラーニング・サポートデスクを開設するほか、大学院生による 学修支援セミナーを実施しています。













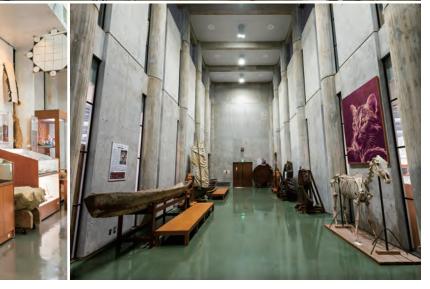


琉球大学には附属の博物館があります。

農学部のすぐ近くにあるレンガ造りの丸い建物が博物館で、通称「風樹館」と言います。 ここには、約20万点の資料が収蔵されており、学内外の教育や研究に活用されています。 また、地域の学校教育や生涯学習への教育支援活動なども行っており、 地域に開かれた大学博物館を目指しています。



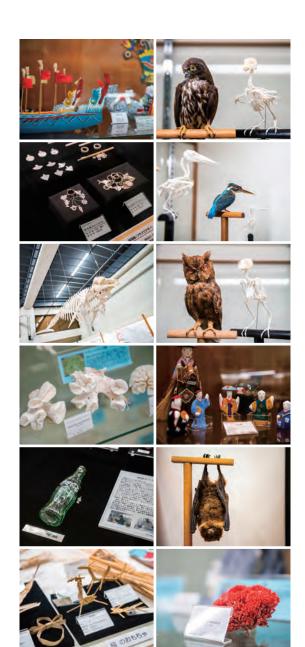




上段は文化系展示室、中段下段は自然系展示室



1階の常設展示室では、沖縄の自然や文化を特徴づける約4,000点の資料が展示されています。展示資料の中には、世界で最初に発見されたイリオモテヤマネコの標本や首里城に設置されていた日時計の破片など、貴重な資料が数多く含まれています。また、すぐ隣には「学校ビオトープ見本園」が設置されており、様々な昆虫や植物、島ヤギなどが観察できます。



海外留学

琉球大学では約40カ国・地域の大学等と国際交流協定を締結して、充実した海外留学制度を整えるとともに、経済的な支援として、大学独自の奨学金や支援金により海外留学をサポートしています。また、バラエティ豊かなアジア・太平洋島嶼地域の諸大学に留学できるのも琉球大学ならではです。

国際化とは語学を学ぶことだけではない

今海外の大学院で学んでいるみなさんの先輩が言いました。「私は世界で環境工学の仕事がしたくて海外で学んでいます。語学はその目的を達成するためのハードルにしか過ぎませんでした。」重要なのはあなたが何をしたいかです。琉球大学は世界各国・地域に交流協定校があり、選択肢は豊富で、必ずあなたの「何がしたい」にふさわしい場所が見つかるはずです。あるいは「何がしたい」を見つけるために飛び出してもいいです。もちろん語学も大切ですが、それはハードルに過ぎず、ゴールはあなた自身の目的にあります。

琉球大学短期交換留学(派遣)プログラム 本学から海外への留学

- ●派遣期間は、1学期以 F 1年間以内
- ●留学先の大学で取得した単位は、琉球大学の卒業要件の単位として認定可能
- ●留学先の大学の授業料等は不要(ただし、琉球大学に在学している状態となるため、琉球大学の授業料は必要)
- ●日本学生支援機構や琉球大学後援財団による奨学金(6~8万円/月)あり(選考があります)
- ●琉大独自の奨学金(6~12万円)や準備金·短期研修参加費用を一部支援する制度もあります(詳細は下の琉球大学QUEST基金を確認)

学生部 国際教育課の担当職員が、海外留学全般の相談に応じます。お気軽にご相談ください!

派遣留学のための学内奨学金

琉球大学 QUEST 基金 学生の国際交流支援事業

本学卒業生から、学生の国際交流支援のために受け入れた寄附金を主な財源として2017年度に創設し、2018年度から事業を開始した基金です。「QUEST」は「Quality Education and Support for Tomorrow」を意味し、本基金では、未来へつながる学生の探究心の向上に資することを目的に、次のような支援を行っています。

- 短期交換留学生(協定派遣)の生活サポート ― 短期交換留学(協定派遣)奨学金
 - 本学と学生交流協定を締結している海外の大学に交換留学生として短期留学する学生に対して、奨学金及び留学準備金を支給しています。 (2020年度実績) 奨学金 月額6~8万円、留学準備金16万円(家計基準あり)
- 短期派遣研修プログラムサポート ― 短期派遣研修プログラム助成
 - 全学部学生を対象に実施する海外文化研修や各学部が実施する海外短期研修プログラム参加者に対して、研修費用の一部を支援しています。 (2020年度実績) 助成金8~15万円(派遣地域によって支給額が異なります。)
- 大学院学生の海外研究サポート ― 大学院学生の海外留学奨学金
 - 海外の大学や研究機関等への留学を希望する本学研究科の大学院学生に対して、給付型奨学金及び留学準備金を支給しています。 (2020年度実績) 奨学金 月額12~16万円、留学準備金15~25万円 (派遣地域によって支給額が異なります。)
- 海外留学準備サポート ― 英語能力試験受験料助成

海外留学を目指す学部学生及び大学院学生に対して、留学準備のために受験する英語能力試験 (TOEFL iBT, IELTS) の受験料の一部を支援しています。 (2020 年度実績) 助成金TOEFL iBT 又はIELTS の受験1回につき2万円



琉球大学では、海外留学を支援するために、この他にも様々な返済不要の給付型奨学金を 用意しています。詳しくは、国際教育課のホームページで確認してくだい。

[留学に関する問合せ先] **学生部 国際教育課 留学交流係** TEL: 098-895-8761 ※海外留学のための奨学金に ついては、右記のQRコード からアクセスしてください。



各学部等が行う主な国際交流プログラム

全学部·全研究科対象 **交換留学**

全学部·全研究科対象 ISEP による交換留学

全学部·全研究科対象 UMAPによる交換留学

全学部対象 海

海外職場体験

全学部対象 浩

海外文化研修

全学部·全研究科対象

バレンシア国際カレッジ・ プログラム

人文社会学部対象 (国際法政学科)

東アジア諸国 (韓国・台湾など) 、 米国 (ハワイ・グアム) 等での海外研修 医学部 対象 ラオスでの

医学生人材育成支援事業

工学部 対象

エヌ・テック・システムズ 東南アジア派遣助成事業

_{農学研究科 対象} 「国際農学プログラム」による 海外研修

海外留学の前に…「海外文化研修」

本学では、半年から1年間の「交換留学」以外に、2週間から4週間程度の「海外文化研修」を実施しています。英語、中国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語の5言語で実施しており、どの学部の学生でも、履修条件を満たせば参加することができます。

海外留学に迷っている場合や海外留学のイメージが湧かない場合は、まずは「海外文化研修」で留学を体験してみませんか?

英語

2週間の文化研修では英語圏の国や地域に滞在し、提携先の大学の講義に参加します。またフィールドトリップを通して、語学だけではなく、その土地の文化や歴史、習慣などを学ぶことができます。2019年度はハワイ大学マノア校でハワイと沖縄の交流史などを学び、ウィンドワードコミュニティカレッジでは現地学生との交流やSDGsについての発表も行いました。

フランス語

夏期休暇中に3~4週間の日程で実施します。地方都市の落ち着いた雰囲気のなかでホームステイまたは寮生活をしながら2週間行う語学研修では、実践的な語学運用能力の向上を目指します。また、1~2週間の文化研修ではパリや地方、近隣国等を訪れ、美術・建築様式の歴史や現地の社会事情を体感し、フランスやヨーロッパの文化・歴史・社会に対する理解を深める機会を提供します。





※次回の渡航先や予定、 最新の情報については、 右記のQRコードから アクセスできます。



スペイン語

スペインで3~4週間の語学研修を行います。滞在期間中には、現地学生、ホストファミリー等との交流を通して、スペイン語の運用能力の向上を図ります。その他、週末等を利用して研修仲間と一緒に小旅行を楽しみながら、スペインの文化や歴史に対する理解を深めます。



ドイツ語

夏季休暇中に、隔年でドイツ及びヨーロッパ各地にて約4週間実施されます。協定校のデュッセルドルフ大学における2週間の語学研修と10日間のバス旅行、最後の4日間は各自の興味に合わせた自由旅行となります。語学研修では外国語運用能力の向上を図り、現地学生・市民との交流を試みる一方、文化研修においては毎回異なるテーマを設定し、そのテーマに沿って訪問国・地域の文化や歴史に対する理解を深め、帰国後の学習がより深化・発展するような研修となっています。

中国語

「海外文化研修(中国語圏)」においては、もともと人文社会学部琉球アジア 文化学科の専門科目として開設していた科目を、全学部対象に門戸を広げ、2 年に1度、台湾の協定校にて研修をおこなっています。中国語の学習はもちろ ん、文化体験、史跡巡りなどを行い、現地の学生らと交流をしながら、異文化 理解を深めることのできる研修になっています。



学生寮(千原寮)

混住型棟





- 鉄筋コンクリート5 階建 (男子寮・女子寮)
- 定員/男子:80名 女子:50名
- ●居室(12㎡)はすべて個室で、エアコン、トイレ(温水洗浄便座) と必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます*。また、無線ルーター貸出(無料)が可能です。
- 男子寮は16人、女子寮は10人を1グループとするユニット制です。 各階のユニットには、シャワー室、補食室(IHコンロ)、洗濯室等があります。

| 寄宿料 | 月額15,000円 |
|------|----------------------------------|
| 維持費 | 月額 9,400 円 寮生が共用部所で使用する水道・ガス等の経費 |
| 電気料等 | 寮生個人が居室で使用した分を実費徴収 |

新混住型棟







- ●鉄筋コンクリート5 階建(男子寮・女子寮)
- ●定員/男子:59名 女子:39名
- 居室 (15 ㎡) はすべて個室で、エアコン、キッチン (IHコンロ)、シャワー・トイレ (温水洗浄便座) 一体型と必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます*。また、無線ルーター貸出 (無料) が可能です。
- ●男子寮は11~12人、女子寮は7~8人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには洗濯機・乾燥機が備え付けられています。

| 寄宿料 | 月額20,000円 | | | | | |
|-------------------------|------------------------------|--|--|--|--|--|
| 維持費 | 月額 5,000円 寮生が共用部所で使用する水道等の経費 | | | | | |
| 電気料等 寮生個人が居室で使用した分を実費徴収 | | | | | | |

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額28,000~31,000円程度です。

一般棟(トイレ・シャワー共用タイプ)







- 鉄筋コンクリート5 階建:男子寮3棟/北辰棟(A・C ブロック)・海邦棟・南星棟 女子寮1棟/紫陽花棟(A・C ブロック)
- ●定員/男子:345名(海邦棟95名、南星棟150名、北辰棟A・C ブロック各50名)

女子:100名(紫陽花棟 A·C ブロック各50名)

- 居室 (9 ㎡) はすべて個室で、エアコンと必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます*。 また、無線ルーター貸出 (無料) が可能です。
- 9~10人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには、シャワー室、補食室(IHコンロ)、洗面洗濯室、トイレ(温水洗浄便座)等があります。

| 寄宿料 | 月額10,000円 |
|------|----------------------------------|
| 維持費 | 月額 9,400 円 寮生が共用部所で使用する水道・ガス等の経費 |
| 電気料等 | 寮生個人が居室で使用した分を実費徴収 |

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額21,000~23,000円程度です。



一般棟(トイレ・シャワー個室タイプ)





- 鉄筋コンクリート5 階建:男子寮1棟/北辰棟(Bブロック)女子寮1棟/紫陽花棟(Bブロック)
- ●定員/男子:40名 女子:40名
- 居室 (13.5 ㎡) はすべて個室で、エアコン、シャワー、トイレと必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます**。また、無線ルーター貸出 (無料) が可能です。
- ●8人を1グループとするユニット制です。 各階のユニットには補食室(IHコンロ)、洗面洗濯室、トイレ(温水洗浄便座)等があります。

| 寄宿料 | 月額15,000円 |
|------|------------------------------|
| 維持費 | 月額 5,000円 寮生が共用部所で使用する水道等の経費 |
| 電気料等 | 寮生個人が居室で使用した分を実費徴収 |

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額23.000~26.000円程度です。

新棟男子寮 · 新棟女子寮





- 鉄筋コンクリート7 階建 (男子寮・女子寮)、エレベーター完備
- ●定員/男子:112名 女子:112名
- 居室 (16 ㎡) はすべて個室で、エアコン、キッチン (IHコンロ)、シャワー、トイレ (温水洗浄便座) と必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます*。また、無線ルーター貸出 (無料) が可能です。
- 男子寮、女子寮は、16人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには洗濯機・乾燥機が備え付けられています。

| 寄宿料 | 月額 25,000円 |
|------|------------------------------|
| 維持費 | 月額 5,000円 寮生が共用部所で使用する水道等の経費 |
| 電気料等 | 寮生個人が居室で使用した分を実費徴収 |

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額33,000~36,000円程度です。

※インターネット利用には居住者本人と業者の個人契約が必要です。

共用棟

共用棟には、事務室、談話室 (ホール)、トイレ (男子用、女子用、身障者用)、自動販売機 (飲み物、カップラーメン) があります。 また、無線 LAN も利用できます。

P専用駐車場

学生寮の構内にある千原寮駐車場が利用できます(月額1,000円)。

但し、千原寮に居住する学生の車両は、千原寮以外の大学内駐車場の利用および通学には使用できません。

【千原寮入寮案内の請求先】[学寮事務室] 〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原59番地 TEL:098-895-8133·8101

※修学支援制度の 詳細については、 右記のQRコードから アクセスして下さい。



経済サポート

琉球大学では、様々な入学金・授業料を減免する制度や奨学金の制度を整えています。

(2021年度の制度のため、変更となる場合があります。)

新制 修学支援 度

対象 住民税非課税世帯及び非課税世帯に準ずる世帯の学生

※支援区分別(第Ⅰ:全額、第Ⅱ:2/3、第Ⅲ:1/3)に判定(下記金額はいずれも昼間主学生が第Ⅰ区分の場合)。

JASSO 給付型奨学金(年額)

自宅生約35万円 自宅外生約80万円

授業料等免除(年額)

入学料約28万円 授業料約54万円

貸与奨学金

第一種奨学金(無利子)

^{自宅生} 45,000 円、30,000 円、20,000 円(月額)

自宅 51,000円、45,000円、40,000円、 ^{外生} 30,000円、20,000円(月額)

第二種奨学金(有利子)

2万円~12万円(1万円単位)(月額)

※第一種及び第二種奨学金の併用貸与も可能

入学時特別増額貸与奨学金(有利子)

10万円~50万円(10万円単位)(一時金)

※入学時特別増額貸与奨学金のみの貸与は不可

琉球大学による入学金免除

対象 日本学生支援機構による修学支援の対象外となった方

入学料免除

全 額 半 額

免

除

琉球大学独自制度による授業料免除

対象 日本学生支援機構による修学支援の対象外となった方

授業料免除

昼11万円免除(夜5.5万円)

琉球大学 修学支援基金 学資金支援事業

対象 経済的に著しく困窮している方

学資金の給付

※各年度の状況に応じた 一律5万円を給付(2021年度実績) 額になります。

2022年度

昼間主コース

人学料282,000円 授業料535,800円(年間)267,900円(半期)

夜間主コース

入学料141,000円 授業料267.900円(年間)133.950円(半期)

※2022年4月1日現在

キャリア教育・支援と卒業生の進路

多様な生き方・働き方が認められる現代の社会においては、自らライフ・キャリアを創造していくための力が必要です。 琉球大学キャリア教育センターでは、在学生のキャリア形成支援のための様々な教育やサービスを展開しています。

体系的なキャリア教育科目の提供

キャリア形成入門

キャリア教育センター教員 による、キャリア形成のため の基礎授業です。

現代社会における多様な キャリアデザインについて 学び、大学生活を主体的に 過ごすための態度や能力を 育てます。

キャリア関係特別講義Ⅱ (県内中期インターンシップ)

インターンシップ実習と実習 前後の研修をセットにした 実践的授業です。

特に沖縄県内企業でのインターンシップに参加できます。現場を知ることで、卒業後のワーク・キャリアを考えます。

キャリア関係特別講義VI (県外長期インターンシップ)

一部上場企業を含む県外企業のインターンシップに、比較的長期で参加する授業です。 少人数でじっくりと事前研修を行い、現場での学習効果を高めます。卒業後は県外に行くことを考えている人にお勧めです。

海外職場体験

アジアを中心とした近隣諸国で1週間程度のインターンシップを行います。

現地学生や現地で生活する 日本人との交流も含まれ、多 くの刺激を受けることができ ます。これまでに海外経験が ない学生にもおすすめです。

就職・進路決定への総合的な支援

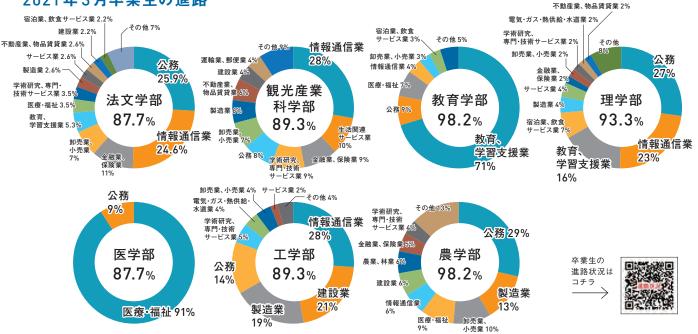
キャリア教育センターでは、経験豊富なキャリアアドバイザーへ就職や進路へ係る相談が出来るほか、次のような支援を行っています。

- ●就職、進路相談
- ●全学年対象、就職ガイダンスの開催
- ●学内合同企業説明会の開催
- ●公務員試験対策講座
- ●教員採用試験対策講座
- ●県外就職活動経費の支援(2万円)
- ●就職関連書籍や DVD の貸し出し
- ●就職関連情報の配信



2022年学内合同企業説明会の様子

2021年3月卒業生の進路



取得可能な教員免許状 *2022年4月1日現在。最新の資格等については、各学部へお問い合わせください。

| 学部 | 学科・課程・専攻・コース・専修 | | | 中学校教諭一種 ^(区分) | 高等学校教諭一種 | その他 (区分) | |
|-----------------|-----------------------|---|---------------------------------------|----------------------------|-----------|-----------------|-------------------------------------|
| 学人 | 国際 | 法政学科 | | | | _ | |
| 学人部文 | | 社会学科 | | | _ | 公民(B) | |
| 字 人 部 社 会 | | アジア文化学 | | | 国語(B) | 国語(B) | |
| | 20023 | , | 観光地域デザインプ□ |]グラム | — na (=/ | | |
| 子區部際 | | | 経営プログラム | | | | |
| 地 | 国際地域 | | 経済学プログラム(昼間主コース) | | 社会(B) | _ | |
| 学部 地域創造 | 倉 | 造学科 | | かム(昼間主/夜間主コース) | 英語 (B) | 英語(B) | |
| 造 | | | 地域文化科学プログラム | | 社会(B) | 地理歴史(B) | |
| | | | | 教育実践学専修 | * (B) | * (B) | |
| | | | 学校教育専攻 | 子ども教育開発専修 | * (B) | * (B) | 小学校一種(A)幼稚園一種(B) |
| | | | | 国語教育専修 | 国語 (B) | 国語 (B) | 小学校一種(A)幼稚園一種(B) |
| | | | | 社会科教育専修 | 社会 (B) | 地理歴史 (B) 公民 (B) | 小学校一種(A)幼稚園一種(B) |
| | | 小 | | 数学教育専修 | 数学(B) | 数学 (B) | 小学校一種(A)幼稚園一種(B) |
| | | 校校 | 教 | 理科教育専修 | 理科(B) | 理科(B) | 小学校一種 (A) 幼稚園一種 (B) |
| | | 小学校教育コ | 科 教 | 音楽教育専修 | 音楽 (B) | 音楽 (B) | 小学校一種(A)幼稚園一種(B) |
| | | 1 | 教科教育専攻 | 美術教育専修 | 美術 (B) | 美術 (B) 工芸 (B) | 小学校一種(A)幼稚園一種(B) |
| | 学 | ス | ŏ | 保健体育専修 | 保健体育(B) | 保健体育(B) | 小学校一種(A)幼稚園一種(B) |
| | 校 | | | 技術教育専修 | 技術(B) | 工業(B) | 小学校一種(A)幼稚園一種(B) |
| 教 | 教育 | | | 生活科学教育専修 | 家庭(B) | 家庭(B) | 小学校一種(A)幼稚園一種(B) |
| 育 | 教 | | | 英語教育専修 | 英語 (B) | 英語 (B) | 小学校一種(A)幼稚園一種(B) |
| 学 | 員 | | | 国語教育専修 | 国語 (A) | 国語 (A) | 小学校一種(B)幼稚園一種(B) |
| 部 | 養 | | | 社会科教育専修 | 社会(A) | 地理歴史 (B) 公民 (B) | 小学校一種(B)幼稚園一種(B) |
| | 成課 | | | 数学教育専修 | 数学(A) | 数学(A) | 小学校一種(B)幼稚園一種(B) |
| | 酥 程 | 中 | 教科教育専攻 | 理科教育専修 | 理科(A) | 理科(A) | 小学校一種(B)幼稚園一種(B) |
| | '- | 中学校教育コ | | 音楽教育専修 | 音楽 (A) | 音楽 (A) | 小学校一種(B)幼稚園一種(B) |
| | | 教 育 | | 美術教育専修 | 美術(A) | 美術(A)工芸(B) | 小学校一種(B)幼稚園一種(B) |
| | | 1 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 保健体育専修 | 保健体育(A) | 保健体育(A) | 小学校一種(B)幼稚園一種(B) |
| | | ス | | 技術教育専修 | 技術(A) | 工業(B) | 小学校一種(B)幼稚園一種(B) |
| | | | | 生活科学教育専修 | 家庭(A) | 家庭(A) | 小学校一種(B)幼稚園一種(B) |
| | | | | 英語教育専修 | 英語 (A) | 英語 (A) | 小学校一種(B)幼稚園一種(B) |
| | | 特別支援 教育コース | 特別支援教育専攻 | 特別支援教育専修 | **(A/B) | **(B) | 小学校一種 (A/B) 幼稚園一種 (B) 特別支援一種 (A) |
| 理 | 数理 | 科学科 | | | 数学(B) | 数学(B) | |
| 理 学 部 | 物質 | 地球科学科 | | | 理科(B) | 理科(B) | |
| | 海洋 | 自然科学科 | | | +±111 (D) | 4±11 (D) | |
| 医学部 | 医学科 | | | | | | |
| 部 | 保健 | 学科 | | | | | 養護教諭一種(B) |
| | | | 機械工学コース | | | 工業(B) | |
| | | | エネルギー環境工学コー | ース | | 工業(B) | |
| エ | | т | 電気システム工学コース | | | 工業(B) | |
| 学 | | 工 学 科 | 電子情報通信コース | | | 工業(B) | |
| 部 | | 11 | 社会基盤デザインコース | | | 工業(B) | |
| | | | 建築学コース | | | 工業(B) | |
| | | | 知能情報コース | | | 情報(B) | |
| | 亜熱 | 帯地域農学科 | | | | | |
| 農 | 亜熱帯農林環境科学科 | | | | | | |
| 学 | 地域 | 農業工学科 | | | | 農業(B) | |
| 部 | 亜熱 | 帯生物資源科 | 学科(健康栄養科学コー | スを除く) | - | | |
| | 亜熱 | 帯生物資源科 | 学科(健康栄養科学コー | ス) | | | 栄養教諭二種(B) |

区分 (A) 卒業単位を修得すること(卒業)により得られる資格 (B) 卒業単位の修得+当該教員免許取得に必要な科目の履修により得られる資格

^{*}は他専修教科から選択(例:国語を選択すれば「国語」が取得できる)

^{**}は特別支援一種:特別支援学校教諭一種(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)は小学校か中学校のどちらか一方の一種免許が基礎資格となるため、同時に卒業単位で取得できる。

教員免許状以外の資格等 ※2022年4月1日現在。最新の資格等については、各学部へお問い合わせください。

| 学部 | 学科・課程・ | 専攻・コース・専修 | 資格・試験名 (区分) | | | | | | |
|-------------|----------------------|---------------------------------------|---|--|--|--|--|--|--|
| 学人 | I 테시스쓰지 | 社会学プログラム | 社会福祉士 (社会福祉学コース:12) | | | | | | |
| 部文社会 | 人間社会学科 | 心理学プログラム | 認定心理士(3)公認心理師(14) | | | | | | |
| 会 | 琉球アジア文化学科 | | 博物館学芸員(3)※国際地域創造学部地域文化科学プログラムの担当者に要相談 | | | | | | |
| = | | 観光地域デザインプログラム | | | | | | | |
| 際地 | 国際地域創造学科 | 経営プログラム | 博物館学芸員(3) ※国際地域創造学部地域文化科学プログラムの担当者に要相談 ※観光地域デザインプログラムについては指導教員に要相談 | | | | | | |
| 域 創 | | 経済学プログラム | | | | | | | |
| 国際地域創造学部 | | 国際言語文化プログラム | | | | | | | |
| 部 | | 地域文化科学プログラム | 博物館学芸員 (3) GIS 学術士 (3) | | | | | | |
| 学教部育 | 学校教育教員養成課 | 程 | 学校図書館司書教諭(8)博物館学芸員(美術教育専修:3) | | | | | | |
| | 物質地球科学科 | 物理系 | 博物館学芸員(3)測量士補(1)測量士(5) | | | | | | |
| 理 | 初貝地球科子科 | 地学系 | 博物館学芸員(3) | | | | | | |
| 理 学 部 | 海洋自然科学科 | 化学系 | 博物館学芸員(3)毒物劇物取扱責任者(7)危険物取扱者〈甲種〉(4) | | | | | | |
| | 海洋自然行子行 | 生物系 | 博物館学芸員(3) | | | | | | |
| 医学部 | 医学科 | | 医師 (4) | | | | | | |
| 部 | 保健学科 | | 看護師(4)保健師(12)助産師(12)臨床検査技師(4)健康食品管理士(12) ※助産師については、将来的に大学院課程への移行を検討しています。 | | | | | | |
| | | 機械工学コース | 自動車整備士(4) 航空整備士(10) ボイラー技士(9) 機械設計技術者3級(10) 技術士(10) 航空無線通信士(10) 危険物取扱試験(10) 基本情報技術者試験(10) 他 | | | | | | |
| | 工学科 | エネルギー環境工学コース | ボイラー・タービン主任技術者 (5) 衛生管理者 (6) 冷凍空調技士 (10) 他 | | | | | | |
| I | | 電気システム工学コース | 電気主任技術者〈指定科目の修得が必要〉(5)電気通信主任技術者〈指定科目の修得が必要〉(2) 第二種電気工事士〈指定科目の修得が必要〉(2)2級電気工事施工管理技士(4) | | | | | | |
| 学部 | | 電子情報通信コース | 電気主任技術者〈指定科目の修得が必要〉(5)電気通信主任技術者〈指定科目の修得が必要〉(2)第二種電気工事士〈指定科目の修得が必要〉(2)2級電気工事施工管理技士(4) | | | | | | |
| 中 | | 社会基盤デザインコース | 技術士補(1)技術士(6)測量士補(3)測量士(5)1・2級土木施工管理技士(6) コンクリート診断士(6)土木鋼構造診断士(6)他 | | | | | | |
| | | 建築学コース | -級建築士(12)二級建築士(4)木造建築士(4)Ⅰ·2級建築施工管理技士(6) 1·2級土木施工管理技士(6)建築設備士(6)土地区画整理士(6)他 | | | | | | |
| | | 知能情報コース | 基本情報技術者試験 [10] 応用情報技術者試験 [10] ネットワークスペシャリスト試験 [10] 他 | | | | | | |
| | 亜熱帯地域農学科 | | 飼料製造管理者任用資格(7)家畜人工授精師〈受講科目の一部免除〉(10)樹木医補(3)家畜受精卵移植師〈受講科目の一部免除〉(10)2級・3級造園技能士(10) | | | | | | |
| 農 | 亜熱帯農林環境科学 | ————————————————————————————————————— | 樹木医補(3)飼料製造管理者任用資格(7)家畜人工授精師〈受講科目の一部免除〉(10) 食鳥処理衛生管理者任用資格(7)家畜受精卵移植師〈受講科目の一部免除〉(10) | | | | | | |
| 学部 | 地域農業工学科 | | 測量士補(地域環境工学コース:1、バイオシステム工学コース:3) 技術士〈技術士の第一次試験免除(日本技術者教育認定基準「JABEE」)認定プログラム修了者〉(6 | | | | | | |
| 中 | 亜熱帯生物資源科学 | 科 | 食品衛生管理者 (10) 食品衛生監視員 (10) 環境衛生監視員 (10) 健康食品管理士 (12) 毒物劇物取扱責任者 (7) 危険物取扱者 〈甲種〉 (4) 上級バイオ技術者 (4) | | | | | | |
| | 亜熱帯生物資源科学科 健康栄養科学コース | | 栄養士 (11) 管理栄養士 (13) 健康食品管理士 (12) | | | | | | |

- 区分 (1)卒業単位を修得すること(卒業)により得られる資格
 - (2) 卒業単位を修得することにより試験の一部が免除される試験 (11) 卒業単位の修得十必要な科目の履修により得られる免許
 - (3) 卒業単位の修得十必要な科目の履修により得られる資格
 - (4) 卒業単位を修得することにより受験資格のある試験
 - (5) 卒業単位を修得後、実務経験を必要とする資格
 - (6) 卒業単位を修得後、実務経験を必要とする試験
 - (7) 卒業単位を修得後、指定の職就任を要件とする資格
 - (8) 前提となる資格を取得して得られる資格
 - (9) 前提となる資格を取得後、実務経験を必要とする資格
- (10) 国が認定する1~9以外の資格又は試験
- (12) 卒業単位の修得十必要な科目の履修により得られる受験資格
- (13) 前提となる免許を取得後、1年以上の実務経験を経て、得られる受験資格
- (14) 学部における所定単位の修得/卒業、及び大学院における所定単位の修得/ 修了により得られる受験資格、あるいは学部における所定単位の修得/卒業後、 実務経験を経て得られる受験資格

2022 (令和4) 年度入試統計

令和4年度 琉球大学 入学試験実施状況 総括表

| 学部 | 学科・課程・専攻・コース・専修 | | 募集 人員 | 志願 | 者 倍率 | 合格 者数 | 県内 | 入学 | 者数その他 | 合計 | | |
|-------------|------------------|------------------------|--------------|--------------|-----------|------------|------|------|------------|---------|--------|----------|
| | | 双计址带到 | | | | 207 | | | | | | |
| 学 人 | 国際法政学科 人間社会学科 | | | 80 | 287 | 3.6 | 100 | 65 | 14 | 2 | 80 | |
| 部文社 | | | | | 40 | 320 | 4.0 | 86 | 63 | 18 | | 83 |
| 会 | 功化工 | 琉球アジア文化学科 | | | | 147 754 | 3.7 | 229 | 27 | 46 | 3 | 204 |
| | | 小計 国際地域 昼間主コース | | | | | 3.3 | 284 | 155 224 | 40 | 5 5 | 271 |
| 創国造学地 | | 際地域 造学科 | 夜間主= | | 265 80 | 881 470 | 5.9 | 91 | 74 | 9 | 0 | 83 |
| 学地部域 | /11: | 1,42, 1,11 | | it | 345 | 1351 | 3.9 | 375 | 298 | 51 | 5 | 354 |
| HIP 19% | | | 学校教育 | | 50 | 180 | 3.6 | 52 | 38 | 12 | 0 | 50 |
| | | | 7 K X F | 国語教育専修 | 30 | 100 | 3.0 | JZ | 30 | 12 | U | 30 |
| | | | | 社会科教育専修 | | | | | | | | |
| | | 小 | | 数学教育専修 | | | | | | | | |
| | | 学校 | 教 | 理科教育専修 | | | | | | | | |
| | | 学校教育コ | 教科教育専攻 | 音楽教育専修 | | | | | | | | |
| | | 育コ | 育 | 美術教育専修 | 45 | 92 | 2.0 | 47 | 20 | 26 | 0 | 46 |
| | | ー ス | 専 攻 | 保健体育専修 | | | | | | | | |
| | 学 | ^ | | 技術教育専修 | | | | | | | | |
| | 校教 | | | 生活科学教育専修 | | | | | | | | |
| 数 | 育教 | | | 英語教育専修 | | | | | | | | |
| 教育学部 | 員 | | | 国語教育専修 | 4 | 15 | 3.8 | 4 | 1 | 3 | 0 | 4 |
| 部 | 養成 | | | 社会科教育専修 | 3 | 15 | 5.0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| | 成課 | ф | | 数学教育専修 | 5 | 8 | 1.6 | 5 | 4 | 1 | 0 | 5 |
| | 程 | 学 | 教 | 理科教育専修 | 5 | 9 | 1.8 | 5 | 5 | 0 | 0 | 5 |
| | | 中学校教育コ | 朴 教 | 音楽教育専修 | 3 | 8 | 2.7 | 4 | 4 | 0 | 0 | 4 |
| | | 育 | 教科教育専攻 | 美術教育専修 | 3 | 3 | 1.0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| | | 7 | | 保健体育専修 | 3 | 4 | 1.3 | 4 | 1 | 3 | 0 | 4 |
| | | ス | | 技術教育専修 | 3 | 9 | 3.0 | 3 | 2 | 1 | 0 | 3 |
| | | | | 生活科学教育専修 | 3 | 10 | 3.3 | 3 | 1 | 2 | 0 | 3 |
| | | | | 英語教育専修 | 3 | 7 | 2.3 | 3 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| | | 特別支援 教育コース | 特別支援 教育専攻 | 特別支援教育専修 | 10 | 18 | 1.8 | 9 | 4 | 5 | 0 | 9 |
| | 小計 | | | 140 | 378 | 2.7 | 144 | 87 | 54 | 0 | 141 | |
| | 数玛 | 里科学科 | | | 40 | 196 | 4.9 | 47 | 36 | 4 | 0 | 40 |
| | 机加工 | 里地球科学 | ∓:L | 物理系 | 40 | 128 | 3.2 | 49 | 26 | 13 | 1 | 40 |
| 理 学 部 | 100 2 | 主心 - 不 1 1 于 | 11 | 地学系 | 25 | 105 | 4.2 | 30 | 12 | 13 | 0 | 25 |
| 部 | 海洋 | 羊自然科学: | 科 | 化学系 | 47 | 155 | 3.3 | 65 | 28 | 19 | 0 | 47 |
| | 71-57 | FH7///1/1-7- | 生物系 | | 48 | 201 | 4.2 | 53 | 22 | 27 | 0 | 49 |
| | | | 小量 | it | 200 | 785 | 3.9 | 244 | 124 | 76 | 1 | 201 |
| 医 | 医学 | 2科 | | | 112 | 725 | 6.5 | 114 | 63 | 49 | 0 | 112 |
| 医 学 部 | 保修 | 建学科 | | | 60 | 222 | 3.7 | 67 | 49 | 11 | 0 | 60 |
| | | | 小 | | 172 | 947 | 5.5 | 181 | 112 | 60 | 0 | 172 |
| | | | 機械工学 | | | | | | | | | |
| | | | | 一環境工学コース | | | | | | | | |
| т | | | | テム工学コース | 050 | 100/ | 0.0 | | 040 | 40. | _ | |
| 工学 | 工学 | 科 | | る 通信コース | 350 | 1334 | 3.8 | 414 | 219 | 124 | 7 | 350 |
| 部 | | | | ミデザインコース | | | | | | | | |
| | | | 建築学コ | | | | | | | | | |
| | | | 知能情報 | | 250 | 1227 | 2.0- | /1/- | 210 | 12/- | 7 | 250- |
| | 小計 | | | 350 | 1334 | 3.8 | 414 | 219 | 124 | 7 | 350 | |
| | _ | 亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 | | | 35 | 96 | 2.7 | 41 | 20 | 15 | 0 | 35 |
| 典 | | | | | 35 | 117 | 3.3 | 38 | 13 | 23 | 0 | 36 |
| 農学部 | 地項 | 地域農業工学科 | | | 25 | 117 | 2.8 | 30 | 20 | 12 | 1 | 27 |
| 部 | 亜熱 | 热带生物資 | 源科学科 | 健康学業科学コニュ | 35 10 | 117 | 3.3 | 39 | 20 | 17 4 | 1 0 | 38 10 |
| | | 健康栄養科学コース | | | 140 | 26 427 | 3.1 | 158 | 73 | 71 | 2 | 146 |
| | | | | H | 1547 | 5976 | 3.9 | 1745 | 1068 | 482 | 18 | 1568 |
| | | | | 11 | 154/ | 5//0 | J.7 | 1/40 | 1000 | 402 | 10 | 1300 |

●志願倍率:志願者数/募集人員

※医学部医学科の一般選抜 (後期日程) において、基準倍率 (約10倍) を超えたため、二段階選抜を実施。



県外志願者ランキング

| | 都道府県 | 人数 |
|----|------|-----|
| 1 | 福岡 | 181 |
| 2 | 東京 | 151 |
| 3 | 鹿児島 | 134 |
| 4 | 大 阪 | 114 |
| 5 | 愛 知 | 113 |
| 6 | 長 崎 | 109 |
| 7 | 北海道 | 100 |
| 8 | 兵 庫 | 95 |
| 9 | 静岡 | 87 |
| 10 | 神奈川 | 77 |
| 11 | 埼 玉 | 72 |
| 12 | 大 分 | 70 |

詳しくは琉球大学の ホームページ「入試データ」を ご確認ください。



ACCESS



首里から



※1時間に1本程度/所要時間:25分

番線 ▶▶▶ 琉大南口/北口方面 那覇バス

モノレール首里駅から琉大北口まで (平日のみ運行)

琉球大学病院 琉大北口駐車場 八附属小学校

那覇から



※各20~40分に1本程度/所要時間:40~50分

番線 ▶▶▶ 琉大東□/北□方面 那覇バス



番線 ▶▶▶ 琉大北口方面

琉球バス



空港から

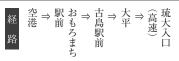


※1時間に1本程度/所要時間:45分

117 番線 琉球バス 沖縄バス 那覇バス 東陽バス の4社が交互運行

152 番線 琉球バス

徒歩約4分) (琉大北口まで 沖縄自動車道



東海岸側(与那原/コザ)から



※各30分に1本程度/所要時間:40~50分

- 番線 ▶▶▶ 泡瀬東線 バス停「奥間」で護佐丸バスに乗り換え
- ●与那原からは下り泡瀬営業所行き
- コザからは上り那覇バスターミナル行き

久場琉大線、伊集回り線

琉大東 県営団地前 前





〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

学生部入試課

098-895-8141/8142 E-mail nsnsdl@acs.u-ryukyu.ac.jp

琉球大学

検索 https://www.u-ryukyu.ac.jp